

大和市健康都市プログラム

(平成26~30年度)



大和市イベントキャラクター ヤマトン



健康創造都市 やまと

平成27年度改訂版

大和市健康都市シンボルマーク



虹は、市民一人ひとりの輝く個性を、太陽は、個々の力が集まる強さとあたたかさを表し、健康と元気に満ちあふれる大和市を象徴しています。

平成20年10月1日制定

「健康都市 やまと」宣言

健康は、日々の生活の基本であり、幸福を追求するために、とても大切なものです。

都市で生活するわたしたち市民が、生き生きと暮らすためには、保健、福祉、医療などを通じて「人の健康」を守るとともに、安全で快適な都市環境が整う「まちの健康」、人と人とのあたたかな関係に支えられる「社会の健康」を育てていくことが重要です。

大和市は、市民一人ひとりの健康な生活の実現に向けた取り組みを進め、「健康都市」を目指すことを宣言します。

平成21年2月1日

「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

- ・人生80年の時代を迎え、これまで高齢者とされてきた世代の意識も大きく変わり、今では、多くの方々が生き生きと過ごしています。
- ・家庭や地域を支えている方、職場で頑張っている方など、豊かな知識と深い経験を持つ人材は大和の貴重な宝です。
- ・こうした方々に、いつまでも、はつらつと元気に活躍していただきたいと考え、ここに「60歳代を高齢者と言わない」ことを宣言します。

平成26年4月1日

はじめに



大和市は、平成20年9月1日、WHO（世界保健機関）西太平洋地域で健康都市に取り組む都市間ネットワークとして発足した「健康都市連合」に加盟しました。平成21年2月1日には、大和市市制50周年の節目に「健康都市 やまと」宣言を行い、健康都市に取り組む姿勢を市内外に明確に表明いたしました。

さらに、平成21年4月には、「健康創造都市 やまと」を将来都市像とする第8次総合計画をスタートし、市政全体で「人」、「まち」、「社会」の3つの健康領域の向上を目指しております。

この健康都市プログラムは、総合計画の中から市民一人ひとりの健康を増進するための重要施策を抽出し、まとめたアクションプランです。ここに掲げた施策をひとつひとつ着実に実行していくと同時に、プログラムを継続的に見直し、更に充実してまいります。

日本では世界に先駆けて急速に少子高齢化が進んでおり、生涯の中で健康に生活できる期間である「健康寿命」の延伸は、国民的課題となっています。そうした中、本市の取り組みが評価され、平成27年11月、厚生労働省による第4回「健康寿命をのばそう！アワード」において、厚生労働省健康局長優良賞を受賞しました。平成26年10月に香港で開催された第6回健康都市連合国際大会で「健康都市優秀インフラストラクチャー賞」を国内で初めて受賞したと合わせて、本市の総合的な取り組みが国内外で高く評価されたものと考えております。

市民の皆様の健康の維持・増進と健康寿命の延伸のために、これからも市民の皆様と共に考え、協力しながら、健康都市の実現に向けた取り組みを続けてまいります。

平成28年1月

大和市長 大木 哲

目 次

健康都市プログラム登載事業一覧	4
「健康都市やまと」と健康都市プログラム	9
1 「健康都市やまと」のあゆみ	
2 「人の健康」、「まちの健康」、「社会の健康」	
3 健康都市プログラム	
4 5つのリーディングプロジェクト	
5 健康都市プログラムの計画期間	
6 健康都市プログラムと市民の取り組み	
リーディングプロジェクト	
1 身体を動かそうプロジェクト	14
重点施策1-1 ウォーキングの推進	
重点施策1-2 日常的な運動	
重点施策1-3 スポーツの機会の提供	
2 楽しく食べようプロジェクト	20
重点施策2-1 バランスのよい食生活の普及啓発	
重点施策2-2 子どもの食育の推進	
重点施策2-3 生産者との信頼関係の構築	
3 くつろごうプロジェクト	28
重点施策3-1 市街地快適空間の創造	
重点施策3-2 緑化の推進	
重点施策3-3 文化芸術の振興	
4 命を守ろうプロジェクト	41
重点施策4-1 救急救命体制の充実	
重点施策4-2 健康診査、少子化対策の充実	
重点施策4-3 安心して支え合いながら暮らせる地域づくり	
重点施策4-4 メンタルケアの充実	
5 健康意識を高めようプロジェクト	61
重点施策5-1 健康の意識啓発	
資料集	
世界における健康増進の取り組み	73
健康都市連合憲章	76
大和市健康都市推進市民会議設置要綱	81
健康都市推進庁内検討会議設置要領	82

コラム

- 「健康都市」と大和市・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 日本と世界の高齢化・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 市内を巡って健康に！「YAMATO de Ingress」事業を開始やま と で イングレス・・・・16
- ウォーキングで健康に・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- 「食育」で食を通じて心も体も健康に！・・・・27
- 外出したくなるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・32
- 「大和市立病院」のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・45
- いのちを守るがん検診・・・・・・・・・・・・・・・・46
- 子どもが生き生きと育つまち・・・・・・・・・・・・53
- 災害に強いまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・59
- 保健師・管理栄養士の地域訪問活動・・・・・・・・64
- 歯と口腔を健康に・・・・・・・・・・・・・・・・・・67
- 「女子サッカーのまち 大和」・・・・・・・・・・・・70
- 厚生労働省「健康寿命をのばそう！アワード」を受賞しました・・裏表紙 裏

健康都市プログラム登載事業一覧

身体を動かそうプロジェクト

重点施策	取り組み	該当事務事業	第8次大和市総合計画									所管課	ページ	
			基本目標						行政経営の方針					
			1	2	3	4	5	6	7	1	2			3
			「人」		「まち」			「社会」						
ウォーキングの推進	ウォーキングの促進	健康づくり普及啓発事業	○										健康づくり推進課	15
		道路の愛護啓発事業					○						都市施設総務課	15
	ウォーキングルートの緑化	緑化施策の企画・調整・推進事業				○							みどり公園課	16
		緑化推進支援事業				○							みどり公園課	16
		記念樹植樹事業				○							みどり公園課	16
	公園内遊歩道の整備	公園維持管理事業					○						みどり公園課	16
泉の森等公園整備事業						○						みどり公園課	16	
日常的な運動	運動の習慣づくり	スポーツ教室開催事業						○				スポーツ課	18	
	「やまと いきいき健康体操」の実施	高齢者一次予防事業	○									高齢福祉課	18	
	公園への健康遊具の設置	健康遊具設置事業					○					みどり公園課	19	
スポーツの機会の提供	スポーツイベントの開催	スポーツ大会開催事業						○				スポーツ課	19	

楽しく食べようプロジェクト

重点施策	取り組み	該当事務事業	第8次大和市総合計画									所管課	ページ	
			基本目標						行政経営の方針					
			1	2	3	4	5	6	7	1	2			3
			「人」		「まち」			「社会」						
バランスの良い食生活の普及啓発	食生活の改善	食育推進事業	○									健康づくり推進課	21	
	テーブル・フォー・トゥーの普及	※政策総務課・病院総務課にて対応										政策総務課・病院総務課	22	
子どもの食育の推進	乳幼児の食育	母子保健相談指導事業		○								すくすく子育て課	23	
	保育園児の食育	保育所給食事業		○								ほいく課	24	
	児童生徒の食育	学校給食食育推進事業		○								保健給食課	25	
生産者との信頼関係の構築	地域農産物の販売推進	市民朝霧市支援事業							○			農政課	26	
	地域農産物のPR	農産物消費拡大推進事業							○			農政課	26	

くつろごうプロジェクト

重点施策	取り組み	該当事務事業	第8次大和市総合計画									所管課	ページ	
			基本目標						行政経営の方針					
			1	2	3	4	5	6	7	1	2			3
			「人」		「まち」			「社会」						
市街地快適空間の創造	コミュニティバスの運行	コミュニティバス運行事業					○					街づくり総務課	29	
	協働による「のりあい」への支援	地域公共交通施策事業					○					街づくり総務課	29	
	自転車利用環境の整備	自転車利用環境推進事業					○					道路安全対策課	30	
	路上喫煙の防止	路上喫煙防止対策事業				○						生活環境保全課	30	
	街並み美化の推進	屋外広告物対策事業					○					街づくり推進課	31	
		不法投棄物未然防止事業				○						生活環境保全課	31	
緑化の推進	緑地の保全	緑地保全事業				○						みどり公園課	34	
		大規模緑地整備事業				○						みどり公園課	34	
	市街化区域の緑の保全	保存樹林等支援事業				○					みどり公園課	34		
	緑のカーテンの推進	緑化施策の企画・調整・推進事業				○						みどり公園課	34	
		環境意識啓発事業				○						環境総務課	34	
	公園の維持・管理・整備	街区公園等整備事業					○					みどり公園課	35	
		既設公園等大規模改修事業					○					みどり公園課	35	
ゆとりの森整備事業						○					みどり公園課	35		
文化芸術の振興	芸術文化イベントの開催	文化芸術振興事業					○					文化振興課	36	
		音楽・演劇フェスティバル開催事業						○				生涯学習センター	36	
	文化芸術による魅力的な空間づくり	文化創造担い手育成事業						○				文化振興課	38	
	図書館資料等の充実	図書資料貸出事業							○			図書館	39	
		小学校図書館教育推進事業		○								指導室	39	
	中学校図書館教育推進事業		○								指導室	39		
	読書活動の推進	読書活動推進事業						○				図書館	40	

命を守るプロジェクト

重点施策	取り組み	該当事務事業	第8次大和市総合計画									所管課	ページ		
			基本目標						行政経営の方針						
			1	2	3	4	5	6	7	1	2			3	
			「人」		「まち」			「社会」							
救急救命体制の充実	休日夜間急患診療所の運営	休日夜間急患診療所運営事業	○										健康づくり推進課	41	
	重症救急患者の受入体制の確保	夜間診療所運営支援事業	○										健康づくり推進課	42	
	A E Dの整備	応急手当普及啓発事業など			○								救急救命課	42	
	救急隊員の知識・技術の向上	メディカルコントロール推進事業			○								救急救命課	43	
	小児救急パンフレットの発行	休日夜間急患診療所運営事業	○										健康づくり推進課	44	
	救急医療情報キットの配布	救急医療情報活用事業	○										健康づくり推進課	44	
	24時間健康相談の実施	健康相談・教育事業	○										健康づくり推進課	44	
健康診査、 少子化対策の充実	がん対策	健康診査事業	○										健康づくり推進課	46	
	メタボリックシンドローム対策	特定健康診査事業	○										保険年金課	48	
		特定保健指導事業	○										保険年金課	48	
	女性の健康診査	女性の健康診査事業	○										健康づくり推進課	48	
	少子化対策の充実	感染症の予防と対策	感染予防事業	○										健康づくり推進課	49
			妊婦健康診査事業		○									すくすく子育て課	50
			不妊治療費助成事業		○									すくすく子育て課	50
			不育症治療費助成事業		○									すくすく子育て課	50
	子育てへの支援（1）子育て相談	子育て支援センター運営事業	出産費助成事業		○									すくすく子育て課	50
			子育て支援センター運営事業	○										ほいく課	50
			妊産婦・新生児等訪問事業		○									すくすく子育て課	50
			低体重児育児支援事業		○									すくすく子育て課	50
			子育てへの支援(2)中学生までの小児医療費助成	小児医療費助成事業		○								子ども総務課	51
			子育てへの支援(3)第3子以降の学校給食費助成	学校給食費助成事業		○								保健給食課	51
			ファミリーサポートセンター事業		○									すくすく子育て課	52
	きめの細かい保育・子育てサービスの実施	民間保育所建設・増設支援事業	休日保育事業		○									ほいく課	52
			放課後児童クラブ事業		○									子ども・青少年課	52
放課後子ども教室管理運営事業				○									子ども・青少年課	52	
児童・生徒の安全対策			児童生徒安全対策事業		○								指導室	54	
安全安心ステーション高座渋谷の運営			安全安心ステーション事業			○							生活あんしん課	54	
安心して支え合い ながらくらす 地域づくり	地域防犯活動の推進	地域防犯活動推進事業			○							生活あんしん課	55		
	防犯カメラの整備	街頭防犯カメラ整備事業			○							生活あんしん課	56		
	災害時における必要な物資の確保	防災備蓄品等整備事業			○							危機管理課	57		
	災害発生時の初期消火能力の充実	初期消火用資機材整備事業			○							消防署管理課	57		
	歩道の安全性向上	歩道セーフティーアップ事業			○							道路安全対策課	58		
	地域での介護予防支援	包括的支援事業	高齢者一次予防事業		○								高齢福祉課	58	
			高齢者一次予防事業		○								高齢福祉課	58	
メンタルケアの充実	自殺対策	自殺対策事業		○								障がい福祉課	60		
	青少年の健全育成	青少年相談・街頭補導事業		○								青少年相談室	60		

健康意識を高めようプロジェクト

重点施策	取り組み	該当事務事業	第8次大和市総合計画									所管課	ページ		
			基本目標						行政経営の方針						
			1	2	3	4	5	6	7	1	2			3	
			「人」		「まち」			「社会」							
健康の意識啓発	健康イベントの開催	健康都市推進事業								○			政策総務課	61	
		保健衛生普及事業	○										保険年金課	61	
	健康都市の推進	健康都市推進事業								○			政策総務課	62	
	予防接種情報の発信	予防接種事業			○								健康づくり推進課	63	
	地域での健康相談・健康教育の実施	健康相談・教育事業	○										健康づくり推進課	63	
	健康普及員の支援	健康づくり普及啓発事業	○										健康づくり推進課	65	
	手洗い・うがいの普及啓発	保健衛生普及事業など	○										健康づくり推進課	65	
	歯の健康づくり	1歳6ヶ月児・3歳6ヶ月児健康診査事業	成人歯科健康診査事業		○									すくすく子育て課	66
			成人歯科健康診査事業		○									健康づくり推進課	66
	地域スポーツの振興	地域スポーツ推進事業							○					スポーツ課	68
			女子サッカー推進事業							○				スポーツ課	68

「健康都市」と大和市

20 世紀の末から 21 世紀初めにかけて、人類は有史以降初めて、その半数以上が都市部に住むこととなりました。現在も世界各地で、農村部から都市部への人口流入が続いています。

健康都市の考え方は、こうした地球規模の歴史的な流れの中で生まれてきました。都市に住む人々が健康な生活を送るためには、一般に健康という言葉でイメージされやすい保健や医療の問題のみでなく、公害などの環境問題や教育、住宅、雇用、開発など、都市で生じるあらゆる問題がかかわっているという考え方が、その基礎となっています。こうした広範な都市にかかわる問題に健康という視点から取り組み、常に改善を続けていくというのが、「健康都市」の考え方です。

健康都市の考え方を受けて、世界各地の自治体が、健康のための取り組みを様々な分野で進めています。さらに近年では、自治体が保健分野など個別の政策分野で健康のための取り組みを進めるだけでなく、すべての政策分野において健康を考慮した政策を形成し推進すべきだという「ヘルス・イン・オール・ポリシーズ（すべての政策で健康を）」という考え方が広まりつつあります。

市政全体で「人の健康」「まちの健康」「社会の健康」をめざす「健康創造都市やまと」の取り組みは、こうした世界的な健康都市の流れに沿って生まれてきたものです。

大和市は平成 20 年、健康都市連合に加盟しました。健康都市連合は、WHO（世界保健機関）西太平洋地域事務局の呼びかけによって結成された、健康都市を推進する西太平洋地域 10 カ国の都市、団体、国際機関などのネットワークです（詳しくは 72 ページからの資料集をご覧ください）。

その後、平成 24 年 8 月に、2 日間にわたって日本支部総会・大会を開催しています。さらに同年 10 月には、オーストラリアのブリスベン市で開催された第 5 回健康都市連合総会において、日本を代表して健康都市連合の理事（任期は 4 年間）に選出されており、連合の運営に携わっています。

また、大和市は健康都市連合において「健康創造都市やまと」の取り組みに関する情報を国内外に発信しています。

平成26年4月には、健康都市連合に加盟するモンゴル・マレーシア・フィリピン3か国の自治体が大和市を視察しました。さらに同年10月に香港で開催された第6回健康都市連合国際大会では、「ヘルス・イン・オール・ポリシーズ」に関する基調セッションが行われ、市政全体にわたる大和市の取り組みを発表しました。

平成27年も8月にフィリピンのマリキナ市で開催された第18回健康都市連合理事会会議に出席し、日本の健康都市の代表として、連合の運営に携わるとともに、日本での少子高齢化時代における健康都市の動きについて情報発信を行いました。

大和市は今後も、市民の健康な生活のために、市政全体で3つの健康を推進すべく、たゆまぬ努力を続けてまいります。



第6回健康都市連合国際大会での大和市による発表と健康都市連合による表彰
(平成26年10月、香港)



第18回健康都市連合理事会会議の様様 (平成27年8月 フィリピン・マリキナ市)

日本と世界の高齢化

大和市は平成 26 年 4 月、市民の皆様いつまでもはつらつと元気に活躍していただきたいと考え、「60 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」を宣言しました（本プログラムの表紙裏側をご覧ください）。

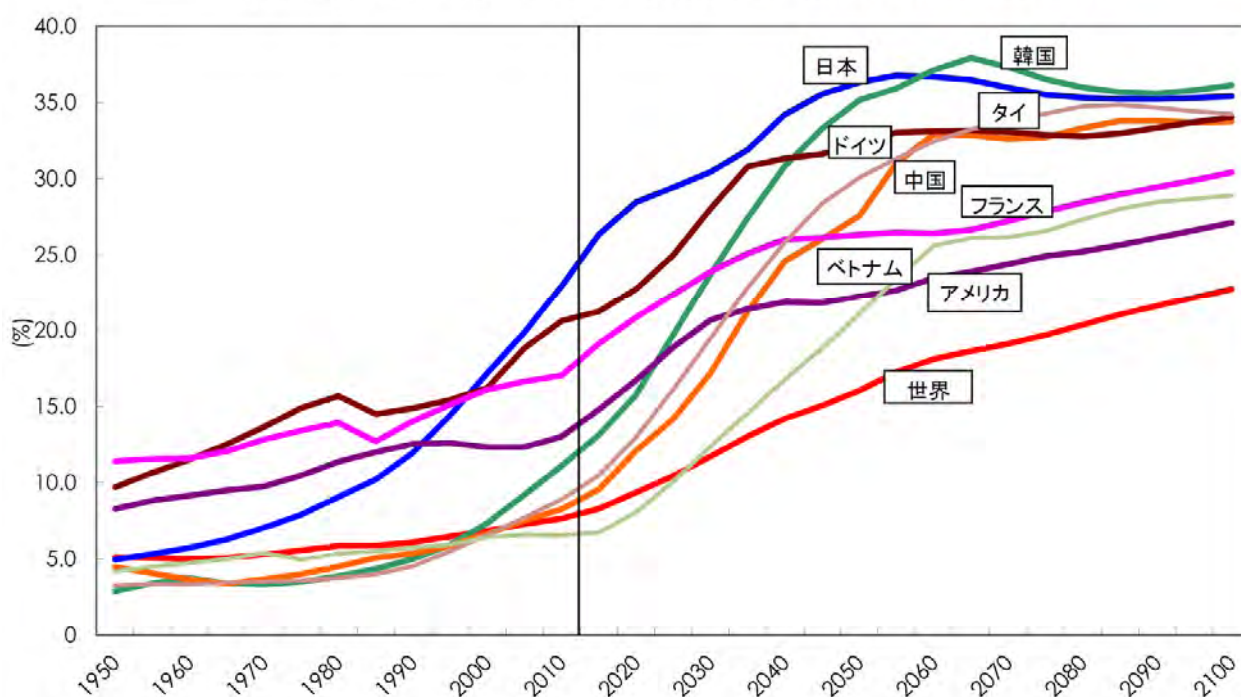
この宣言には、健康都市連合の国際大会など、海外でも高い関心をいただきました。急速な高齢化という点、ともすると日本だけのことのように思えますが、実際にはヨーロッパ、そして今世紀中盤以降にはアジアの各国でも急速に進展するものと予測されています。

健康都市を推進する WHO のマーガレット・チャン事務局長は、各国が適切な医療や介護サービスで健康状態を改善することで、高齢になっても社会貢献できるようにすべきだとしています。そうした中でチャン事務局長は日本について、「世界でももっとも健康な長寿を誇る国」であり、「（日本での）取り組みを世界に向けて発信していくことを期待する」と述べています（朝日新聞夕刊平成 27 年 10 月 6 日 2 面）。

本市は今後も引き続き、あらゆる年代の市民の皆様により健康な生活を送っていただけるよう、健康都市の取り組みをより一層進めるとともに、日本の様々な取り組みを、日本を代表する理事として、海外に発信してまいります。

各国の人口において65歳以上の方が占める割合

（国連経済社会問題局ホームページ「世界人口推計：2015年改訂版」を基に作成）



「健康都市やまと」と健康都市プログラム

1 「健康都市やまと」のあゆみ

大和市は、健康を市政運営の中心に据えて、市政のあらゆる面で市民の健康と生活の質の維持・向上を目指す「健康都市」の取り組みを進めています。

大和市は、平成21年に「健康都市 やまと」宣言(表紙裏に掲載)を行い、全市一丸となって健康都市を目指すという決意を表明しました。さらに同年「健康創造都市やまと」を将来都市像とした第8次総合計画を開始しました。

平成20年 7月25日	健康都市連合日本支部加盟
平成20年 9月 1日	健康都市連合加盟
平成20年10月 1日	「大和市健康都市シンボルマーク」制定
平成21年 2月 1日	「健康都市 やまと」宣言
平成21年 4月 1日	「健康創造都市 やまと」を将来都市像とする 第8次大和市総合計画をスタート
平成21年 7月	「大和市健康都市プログラム」策定
平成22年11月13日	「健康都市やまとフェア」(第1回)開催
平成24年 8月7,8日	第8回健康都市連合日本支部総会・大会開催
平成24年10月26日	第5回健康都市連合国際大会(オーストラリア・ブリスベン) において、健康都市連合の理事に就任
平成26年 4月 1日	「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言
平成26年10月29日	第6回健康都市連合国際大会(香港)において、健康都市連合 より「健康都市優秀インフラストラクチャー賞」を受賞
平成27年11月16日	厚生労働省「健康寿命をのばそう!アワード」で 厚生労働省健康局長優良賞を受賞

2 「人の健康」、「まちの健康」、「社会の健康」

大和市では「人の健康」、「まちの健康」、「社会の健康」の3つの健康領域を掲げて、「健康創造都市 やまと」の実現を目指しています。



人の
健康

心身ともに健康で、また、なんらかの障がいなどがあっても、元気で生き生きとした暮らしを営むことができる市民を増やそうという健康の領域



まちの
健康

生活や活動の場であるまちに着目し、市民の安全で快適な生活を阻害するまちの中の要因を取り除き、良好な都市空間を整えていこうという健康の領域



社会の
健康

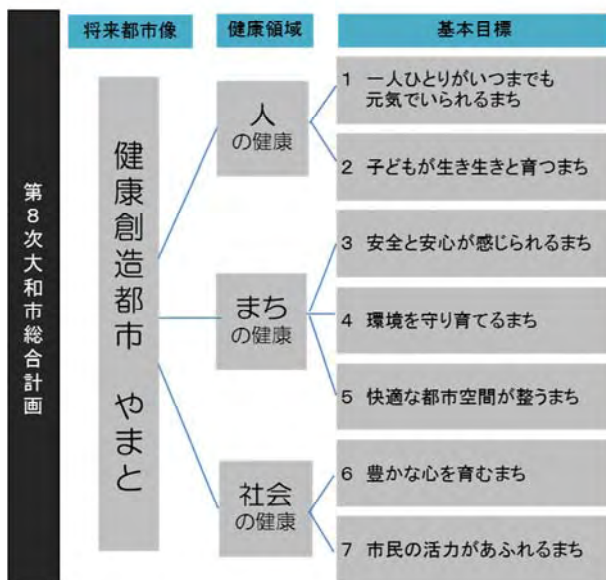
人と人とのつながりが創り出すコミュニティを充実させながら、互いに認め合う豊かな人間関係を育み、活力に満ちた地域社会を築いていこうという健康の領域

3 健康都市プログラム

大和市では、3つの健康にかかわる施策を効果的に実行することを目指して、「健康都市プログラム」を策定しています。

第8次総合計画の中から、市民一人ひとりの健康を維持増進していくという観点で特に重要な施策を抽出して、5つのリーディングプロジェクトに編成しています。

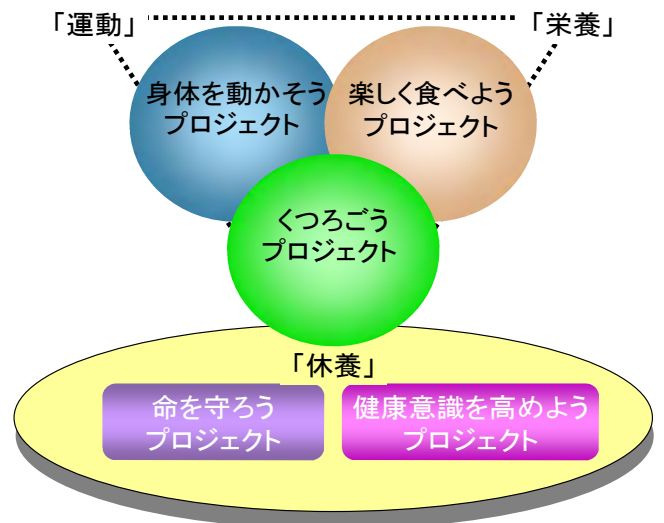
【総合計画と健康都市プログラムの関係図】



健康都市プログラム リーディングプロジェクト				
① 身体を動かそう プロジェクト	② 楽しく食べよう プロジェクト	③ くつろごう プロジェクト	④ 命を守ろう プロジェクト	⑤ 健康意識を高めよう プロジェクト
○	○		○	○
	○		○	○
			○	
○		○		
○		○		
○		○		○
	○	○		

4 5つのリーディングプロジェクト

人が自らの健康を維持増進する上で重要な「運動」、「栄養」、「休養」の3要素に着目した3本の柱と、健康の維持増進に取り組む上で、基盤ともなる「命を守ること」、「健康意識を高めること」という2要素に対応した2本の柱、合わせて5本の柱からなっています。



リーディングプロジェクトの概要図

5 健康都市プログラムの計画期間

健康都市プログラムの計画期間は、第8次総合計画（10カ年、平成21～30年度）の後期基本計画（5カ年、平成26～30年度）と同期間とします。

また、市の事業の実施計画が毎年改訂されるのに合わせて、健康都市プログラムも毎年改訂を行います。

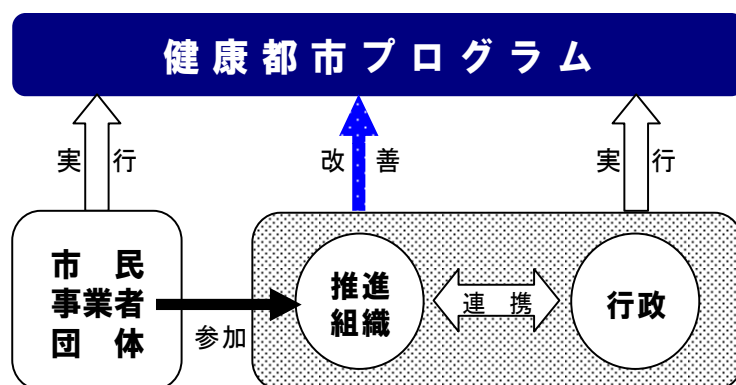
6 健康都市プログラムと市民の取り組み

健康づくりにおいては、市民一人ひとりが健康について関心を持ち、健康の上で好ましい生活習慣を身につけて、それを実践・継続していくことが不可欠です。

大和市では様々な取り組みを通じて、市民一人ひとりの健康づくりを支援する環境づくりを推進していきます。

また、大和市には、それぞれの地域で健康づくりに取り組む個人や団体が多数存在しています。地域の人々の健康を継続的に維持増進していくためには、地域で地道に活躍するこうした人々を中心とした組織により、健康都市プログラムを推進していくことが重要です。

大和市では、「健康都市推進市民会議」を組織し、地域において活躍されている個人や団体等の参画を得て、実践活動に基づく意見、提案を集約し、健康都市プログラムに反映していきます。



【市民参加のイメージ】

リーディングプロジェクト



身体を動かそうプロジェクト リーディングプロジェクト1

身体を動かすことは、骨・筋力の維持、脂肪の燃焼、脳の活性化や生活習慣病の防止に欠くことのできない健康の基本です。幅広い年齢層で、様々な健康状態の人々が、広く取り組むことができる運動の普及啓発と、取り組みをしやすい環境の整備に努めます。

重点施策 1-1 ウォーキングの推進

身体の健康を維持・増進するために、歩くことは非常に効果的です。散歩のように負担の軽いものや、ダイエットや筋力維持を目的にしたものなど、その人にあったウォーキングを継続できるように、誰もが歩きやすい環境の整備を進めます。



重点施策 1-2 日常的な運動

健康体操や、身体への負荷の少ないスポーツなど、子どもからお年寄りまで幅広い層で、様々な運動を楽しむ人の輪を広げていきます。



重点施策 1-3 スポーツの機会の提供

スポーツは、その達成感や爽快感から、身体だけではなく、精神的にもよい影響をもたらします。多くの方が、スポーツに親しむことのできる機会を提供していきます。



重点施策 1-1 ウォーキングの推進

ウォーキングの促進

担当：健康づくり推進課
都市施設総務課

取り組み内容

健康普及員を中心に、「大和市ウォーキングマップ（改訂版）」を活用したウォーキングを地域の活動に取り入れていきます。また、駅前等にウォーキングマップの配架やルート案内板を設置し、利用者の利便性を高めるとともに、ルートのPRを行います。

（対象事業：健康づくり普及啓発事業、道路の愛護啓発事業）

平成24～26年度の実施状況

○健康普及員の活動として、ウォーキングマップを活用したウォーキングを、市内11地区で実施しました。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数	9回	12回	11回
参加者数	233人	314人	291人

<平成26年度>

○健康都市やまとフェアにおいて、3つのコースに分かれ、ウォーキングを実施しました。

北部：中央林間・慈緑庵・宇都宮記念公園（5.0km）

南部：境川・深見神社（5.4km）

中部：谷戸緑地・境川・久田緑地・金比羅神社（4.7km）

○ウォーキングマップを改定し、新たに、健康遊具設置場所を掲載しました。

配布数：7,143冊

○市内8か所にウォーキングマップ案内板を設置しました。

<平成26年度>

・桜ヶ丘駅前（東口）：「境川・緑地コース」

<平成25年度>

・引地台公園ロータリー：「四季の花めぐりコース」

<平成24年度>

・中央林間駅前（東口）：「慈緑庵を訪ねるコース」

・つきみ野駅前（改札口側）：「北部神社・仏閣めぐりコース」

・南林間駅前（西口）：「芹沢公園めぐりコース」

・鶴間駅（改札前）：「泉の森 自然観察コース」

・大和駅前（東側）：「深見歴史の森・境川コース」

・高座渋谷駅前（西口）：「歴史と自然のふれあいコース」

ウォーキングルートの緑化 担当:みどり公園課	取り組み内容 緑豊かなウォーキングルートを整備するために、フラワーステーションの設置、生垣設置助成、記念樹の植樹等を実施し、ルート沿いの緑化を推進します。 (対象事業:緑化施策の企画・調整・推進事業、緑化推進支援事業、記念樹植樹事業)			
	平成24～26年度の実施状況 ○フラワーステーションへの花苗の植栽を春と秋に実施しました。			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	植栽実施か所	15か所	15か所	10か所
	○接道部緑化(生垣等)について、現物を支給、または設置費用を助成し、緑化しました。			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
緑化距離	21.9m	12.3m	10.1m	
○ゆとりの森に、50本のサクラを記念樹として植樹しました。				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
植樹本数	50本	—	50本	
公園内遊歩道の整備 担当:みどり公園課	取り組み内容 公園や大規模緑地にウォーキングをしやすい環境を整えます。 (対象事業:公園維持管理事業、泉の森等公園整備事業)			
	平成24～26年度の実施状況 ○泉の森の園路を自然色舗装・アスファルト舗装・土系舗装で整備しました。			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	舗装距離	45m	40m	87m

やま と で イングレス

市内を巡って健康に！「YAMATO de Ingress」事業を開始

大和市は、スマートフォン向けの位置情報ゲーム「Ingress」を活用した健康促進・集客事業を進めています。

Ingressは、陣取りゲームをコンセプトとしており、青と緑の陣営が「ポータル」と呼ばれる基点を巡って陣地を奪い合います。ポータルは、実際に存在する史跡、記念碑、公園などに設定されており、市内にも多数あります。プレイヤーは、歩くなどして直接その場を訪れなければいけないことが、このゲームの最大の特徴です。

市は、Ingressを紹介する独自のホームページを開設し、遊び方や市内のポータルを巡るミッション(スタンプラリーのようなもの)などを掲載しています。

歩くことは健康につながるとともに、大和市の新たな表情を発見できるかもしれません。どうぞご利用ください。

<http://www.city.yamato.lg.jp/ymd/>



市役所だれでも広場
「ポータル」画面より

ウォーキングで健康に

日々の生活の中で適度な運動を行うことは、生活習慣病の予防・改善や、認知症やロコモティブ・シンドローム（加齢による骨・関節・筋肉などの運動器機能の低下）の予防にもつながります。

ウォーキングは日常生活の中で最も基本的で効果的な運動です。いつでも、どこでも、誰でも簡単にできて、忙しい生活の中でも無理なく長く続けることができます。

最近では、歩数の増加が健康増進とともに医療費の削減に繋がるという研究も出ています。東北大学が宮城県大崎保健所管内で13年間にわたって行った研究によると、1日1時間以上歩く人々のほうが、そうでない人々よりも、平均余命が長く生涯医療費が低かったとのこと。

	一日の平均歩行時間	平均余命	生涯医療費
40歳男性	1時間未満	43.4年	1505.6万円
	1時間以上	48.8年	1391.9万円
40歳女性	1時間未満	56.6年	1844.7万円
	1時間以上	57.8年	1794.3万円

データ出典： 東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野
「歩行時間と平均余命、生涯医療費の関連について：大崎コホート研究」
<http://www.pbhealth.med.tohoku.ac.jp/node/462>

まずは日々の生活の中で、1日10分から15分、歩く時間を増やしてみてもいいでしょうか。

さらに、休みの日などに市内でのウォーキングはいかがでしょうか。大和市健康普及員連絡協議会では、皆様により安全で楽しく歩いていただけるよう、「大和市ウォーキングマップ」を作成しています。この中では歩きながら市内の歴史や自然の名所などにふれあえる10のコースが紹介されています。

同マップは大和市保健福祉センターの健康づくり推進課や各学習センター等、市内の公共施設で配布されています。また、以下のホームページからダウンロードもできますので、どうぞご利用ください

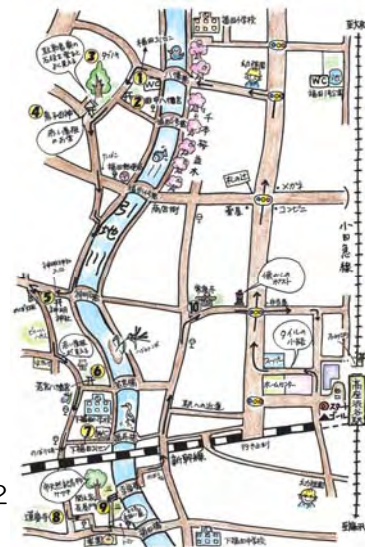
<http://www.city.yamato.lg.jp/web/kenko/map.html>

日本人の一日の平均歩数の現状と目標

		目標 (H34)	現状 (H26)
20～64歳	男性	9,000歩	7,860歩
	女性	8,500歩	6,794歩
65歳以上	男性	7,000歩	5,779歩
	女性	6,000歩	4,736歩

目標：厚生労働省「健康日本21（第二次）」（平成24年）

現状：厚生労働省「平成26年国民健康・栄養調査報告の概要」図2.2



「大和市ウォーキングマップ」より

重点施策 1-2 日常的な運動

<p>運動の習慣づくり</p> <p>担当:スポーツ課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>幅広い年齢層向けの体操教室や、仕事をしていてなかなか運動ができない世代を対象としたヨガ教室を開催するなど、運動をするきっかけづくりをします。</p> <p>(対象事業:スポーツ教室開催事業)</p>			
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○各種スポーツ教室を開催しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	スポーツ吹き矢教室	58人	40人	47人
	体力づくり歩け歩け運動	14人	24人	23人
	親子ふれあいサッカー教室	40組	31組	42組
	スポーツマッサージ教室	47人	20人	46人
	障がい者卓球教室	18人	14人	15人
	健康体操教室	46人	71人	42人
	トランポリン教室	158人	170人	155人
	はじめてのヨガ教室	76人	58人	—
	はじめてのポテンシャル 体操教室	—	—	72人
はじめての親子体操教室	40組	52組	51組	
<p>「やまと いきいき健康体操」の実施</p> <p>担当:高齢福祉課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>大和市独自の「やまと いきいき健康体操」のホームページでの動画配信やDVD・CD等の普及媒体を利用するとともに、介護予防関連のイベントや講座において、体操の普及に努めます。</p> <p>(対象事業:高齢者一次予防事業)</p>			
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○介護予防サポーター養成事業において、「やまと いきいき健康体操」の普及啓発のための講座を実施しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	開催場所	7か所	7か所	9か所
	参加者数	78人	88人	76人
<p>○「健康都市やまとフェア」や「ご当地体操フェスタ」等において、「やまと いきいき健康体操」を実施し、普及啓発を行いました。</p>				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
参加者数	139人	484人	143人	

	<p><平成25年度></p> <p>○市ホームページにて「やまと いきいき健康体操」の動画を見ることができるようになりました。</p>
<p>公園への健康遊具の設置</p> <p>担当：みどり公園課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>年齢を重ねても健康でいられるために自ら健康増進に積極的に取り組むことの一環として、体を伸ばしたり曲げたりするなどの簡単な運動ができる「健康遊具」を、平成26年度から29年度にかけて、市内約100か所の公園に設置する方針です。いつまでも元気に、そして地域の人々と触れ合える場をつくることを目指します。</p> <p>(対象事業：健康遊具設置事業)</p> <p>平成26年度の実施状況 (平成26年度の新規事業です)</p> <p>○15公園に、各公園6基ずつの計90基の健康遊具を設置しました。</p>

重点施策1-3 スポーツの機会の提供

<p>スポーツイベントの開催</p> <p>担当：スポーツ課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>あらゆる年齢層の方々が参加できるイベント「スポーツフェスタ」を開催します。</p> <p>(対象事業：スポーツ大会開催事業)</p>							
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○「健康都市やまとスポーツフェスタ」を開催し、スポーツの機会を提供しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>1,085人</td> <td>862人</td> <td>1,093人</td> </tr> </tbody> </table> <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの体験コーナー ・体力テスト ・記録に挑戦コーナー (キックターゲット、ストラックアウト ほか) ・健康づくり推進コーナー ・子どもコーナー ほか 		平成24年度	平成25年度	平成26年度	来場者数	1,085人	862人
	平成24年度	平成25年度	平成26年度					
来場者数	1,085人	862人	1,093人					



楽しく食べようプロジェクト リーディングプロジェクト2

食べることは、生きるためのエネルギーや、身体をつくる栄養素を摂取する健康の基本です。それぞれのライフステージごとに、望ましい食生活を送ることがとても大切です。多くの人に、食に対する関心と、正しい知識を持っていただくために、様々な普及啓発活動を行います。



重点施策2-1 バランスのよい食生活の普及啓発

バランスのよい食生活を送るためには、食に対する関心と、正しい知識が必要です。そのきっかけとして、具体的なメニューや調理方法を学べる機会を提供していきます。

重点施策2-2 子どもの食育の推進

生涯を通じて健康に過ごすために、子どもの頃の食生活はとても大切です。日々成長している子どもたちが、安全で栄養バランスのとれた食事を取れるように、給食の充実や、保護者への正しい食育のアドバイスを行います。



重点施策2-3 生産者との信頼関係の構築

市民に、安全で良質な農産物を提供するために、作り手の顔の見える地域農産物のPRや、購入の機会を提供します。

重点施策 2-1 バランスのよい食生活の普及啓発

食生活の改善 担当:健康づくり推進課	取り組み内容 食生活改善の正しい知識と調理技術の向上を図ります。また、食生活改善推進員を養成し、地域の食育アドバイザーとして健康づくりを推進します。 (対象事業:食育推進事業)												
	平成24～26年度の実施状況 ○食生活改善推進員養成講座を開催し、バランスのとれた食生活の普及に努めました。												
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>17回</td> <td>16回</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>283人</td> <td>201人</td> <td>208人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	実施回数	17回	16回	15回	参加者数	283人	201人	208人
		平成24年度	平成25年度	平成26年度									
	実施回数	17回	16回	15回									
	参加者数	283人	201人	208人									
	○食生活改善推進員を対象とした、食生活の知識や調理技術向上の研修会を実施しました。												
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>9回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>299人</td> <td>230人</td> </tr> </tbody> </table>		平成25年度	平成26年度	実施回数	9回	7回	参加者数	299人	230人			
		平成25年度	平成26年度										
	実施回数	9回	7回										
参加者数	299人	230人											
<平成26年度> ○食生活改善推進員の地区活動(参加者数)													
<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり料理教室 320人 ・男性の料理教室 131人 ・おやこの食育教室 58人 ・独居老人交流会(食事づくり) 180人 ・地場産物料理教室 22人 ・生涯学習センターまつり 152人 ・健康都市やまとフェア2014 200人 													
<平成25年度> ○食生活改善推進員の地区活動(参加者数)													
<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり料理教室 279人 ・男性の料理教室 102人 ・おやこの食育教室 57人 ・独居老人交流会(食事づくり) 100人 ・母親クラブ料理教室 36人 													
<平成24年度> ○食生活改善推進員を対象とした講習を実施しました。													
<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の知識・調理技術向上のための講習会: 20回 ・体力づくり、運動の効果に関する講習会: 1回 													

<p>テーブル・フォー・ トゥーの普及</p> <p>担当：政策総務課 病院総務課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>栄養バランスとカロリーに配慮した食事を提供し、1食につき20円を開発途上国に寄附します。 (政策総務課・病院総務課にて対応)</p>			
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○市役所や市立病院の食堂でヘルシーランチを提供しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	市役所食堂	3,470食	5,113食	4,497食
	市立病院食堂	488食	195食	215食
合計	3,958食	5,308食	4,712食	
<p>○開発途上国の子どもたちの給食のため、以下の金額を寄付しました。</p>				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
市役所食堂	69,400円	102,260円	89,940円	
市立病院食堂	9,760円	3,900円	4,300円	
合計	79,160円	106,160円	94,240円	



重点施策 2-2 子どもの食育の推進

乳幼児の食育

担当:すくすく子育て課

取り組み内容

妊娠期の食育に加え、離乳食及び幼児食教室を開催し、乳幼児期の適切な食生活についての栄養指導、具体的なメニューや調理の工夫等を紹介します。また、乳幼児の食に関する相談を受け、保護者の悩みを解消します。

(対象事業：母子保健相談指導事業)

平成24～26年度の実施状況

○各教室を開催し、乳幼児の食育に努めました。

・プレママパパ（出産前からの食育）教室

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数	12回	12回	12回
参加者数	302人	367人	343人

・もぐもぐ（離乳食）教室

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数	24回	24回	24回
参加者数	433人	358人	415人

・1歳児育児教室（旧：ぱくぱく教室）

※平成25年度より名称・内容を変更し、対象も親子に変更しました

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数	12回	12回	12回
参加者数	155人	244人	545人

・おべんとう教室

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数	3回	3回	3回
参加者数	81人	87人	84人

・地域育児講座、どこでも講座、歯科保健講習会、育児サロン講話

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数	8回	15回	22回
参加者数	247人	528人	871人

・プレママ・チャレンジ離乳食教室

(離乳食スタート時及び妊娠中の栄養について)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数	12回	12回	12回
参加者数	155人	225人	267人

保育園児の食育 担当:ほいく課	取り組み内容 栄養士の立案した献立で、手作りの昼食、おやつを提供します。保育士が、食事に関する基本的な生活習慣を指導します。また、給食用食器をより安全性の高いPEN樹脂製に順次変更し、食環境の充実を図ります。 【対象事業：保育所給食事業（市立保育所）】			
	平成24～26年度の実施状況 ○各保育所の実施により、保育園児の食育に努めました。			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	保育園給食	187,679食	153,547食	136,063食
	園児対象食育 実施回数	66回	66回	44回
	園児対象クッキング 保育実施回数	17回	14回	12回
保護者 対象食育	実施回数	9回	5回	6回
	参加者数	177人	100人	122人
○平成26年度に食物アレルギー対応マニュアルを整備し、アレルギーを持つ園児も楽しく給食が食べられる環境を整えました。 ○保育園給食で地域農産物を毎月1～2回使用しました。 ○給食用食器（平成25年度：小皿 平成24年度：汁椀）をメラミン製からPEN（ポリエチレンナフタレート）樹脂製に変更しました。				



重点施策２－３ 生産者との信頼関係の構築

地域農産物の販売推進 担当：農政課	取り組み内容 生産農家が直接販売する朝霧市・夕やけ市・おさんぽマーケット事業を支援し、新鮮で安全・安心な農産物を購入していただく機会を提供します。 (対象事業：市民朝霧市支援事業)												
	平成２４～２６年度の実施状況 ○大和市民朝霧市推進委員会において、朝霧市等を実施し、作り手の顔が見える地場農産物の販売に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民朝霧市：毎週日曜日に引地台公園で実施 												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成２４年度</th> <th>平成２５年度</th> <th>平成２６年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>５２回</td> <td>４７回</td> <td>５０回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市民夕やけ市：毎週木曜日に市営緑野住宅高層棟北側広場で実施 		平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	実施回数	５２回	４７回	５０回				
		平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度									
実施回数	５２回	４７回	５０回										
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成２４年度</th> <th>平成２５年度</th> <th>平成２６年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>５０回</td> <td>４９回</td> <td>５１回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・おさんぽマーケット：主に毎週土曜日に大和駅東側プロムナードで実施（随時開催） 		平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	実施回数	５０回	４９回	５１回					
	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度										
実施回数	５０回	４９回	５１回										
地域農産物のPR 担当：農政課	取り組み内容 料理教室の開催や、産業フェアへの参加などにより、地元で採れた農産物のPRを行います。 (対象事業：農産物消費拡大推進事業)												
	平成２４～２６年度の実施状況 ○地場農産物のPRのため、各種事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・親子農業見学会 												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成２４年度</th> <th>平成２５年度</th> <th>平成２６年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族数</td> <td>１０組</td> <td>６組</td> <td>１０組</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>２４人</td> <td>１９人</td> <td>２２人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫物活用体験料理教室（親子料理教室） 		平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	家族数	１０組	６組	１０組	参加者数	２４人	１９人	２２人
		平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度									
	家族数	１０組	６組	１０組									
	参加者数	２４人	１９人	２２人									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成２４年度</th> <th>平成２５年度</th> <th>平成２６年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族数</td> <td>６組</td> <td>８組</td> <td>１０組</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>１５人</td> <td>１７人</td> <td>２２人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学生を対象とした、米・野菜に関する作文コンクール 		平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	家族数	６組	８組	１０組	参加者数	１５人	１７人	２２人	
	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度										
家族数	６組	８組	１０組										
参加者数	１５人	１７人	２２人										
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成２４年度</th> <th>平成２５年度</th> <th>平成２６年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加校</td> <td>１８校</td> <td>１７校</td> <td>１８校</td> </tr> <tr> <td>応募数</td> <td>６６９点</td> <td>６６８点</td> <td>６８０点</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・やまと産業フェア（１１月開催）における地域農産物のPR 		平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	参加校	１８校	１７校	１８校	応募数	６６９点	６６８点	６８０点	
	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度										
参加校	１８校	１７校	１８校										
応募数	６６９点	６６８点	６８０点										
<平成２６年度> <ul style="list-style-type: none"> ・健康都市やまとフェア（１１月開催）における地域農産物のPR 													

「食育」で食を通して心も体も健康に！

食は健康な心身をはぐくみ、生きていくための基本です。しかし近年では、食生活の乱れなどが、生活習慣病の増加に繋がっています。

大和市は、1日3度、人生で何万回にも及ぶ食という営みを充実していただくことが市民の皆様の生涯にわたる心身の健康に繋がると考え、「大和市食育推進計画」（計画期間：平成27年度～30年度）を策定しました。

同計画は「食を通じた心身の健康増進と豊かな人間形成」を基本理念に、「親から子、子から親、そして次の世代へ」つながる食育の取組みを進めています。また、地域の地場農産物や日本の伝統的な食生活を大事にすることなども打ち出しています。

本市では同計画に基づき、あらゆる世代の市民を対象として、様々な取組みを進めています。例えば家庭への支援として、乳幼児期の食に関する教室やプレママ・パパ教室などを、学校では地場産物を活用した給食の提供や夏休み親子料理教室を行っています。地域への取組みとして、栄養面で問題が生じやすい高齢の方への訪問栄養指導（64ページをご覧ください）や食生活改善推進員の活動支援、地場農産物の直売や市民農園の運営などを行っています。

また、食育の啓発のため、平成27年8月25日に「やまと食育フェア」を市内のショッピングモールで開催しました。離乳食の展示や地場産津久井在来大豆のプレゼント、歯科衛生士による噛むカムチェック、そして保育園児による食育のうた斉唱や野菜ソムリエによる地場農産物を活用したジャーサラダの食育講座など、様々なイベントを行いました。夏休みの最終日、親子連れで大変な盛況となりました。

大和市はこうした取組みを通じて、これからも食育の取組みを進めてまいります。



「第1回やまと食育フェア」（平成27年8月25日）の様様



くつろごうプロジェクト リーディングプロジェクト3

心身ともに休息をとることは、疲れた身体を癒すとともに、ストレスの解消につながり、明日への活力を生み出す健康の基本です。まちの空間や、ひとのつながりが、心地よいものとなるように、環境の整備を進めます。



重点施策3-1 市街地快適空間の創造

地域の顔である鉄道駅周辺を中心とした市街地を、にぎわいのあふれる楽しい空間にするとともにくつろぎとゆとりを感じられる場とします。また、外出しやすい交通環境を整備します。

重点施策3-2 緑化の推進

調和のとれた街並みや、緑あふれる空間に身を置くことで、落ち着けて、心が休まり、ゆとりと潤いのある生活を送ることができます。そんな心の休まる空間を創出します。



重点施策3-3 文化芸術の振興

人の心にくつろぎを与えゆとりをもたらす文化芸術にふれる機会を増やすなど、文化芸術活動を通じた様々な人との交流を進めます。また、子どもの豊かな感性や情緒を育むとともに学力向上にもつながる読書活動を、さらに推進します。

重点施策 3-1 市街地快適空間の創造

<p>公共交通機関の 利便性の向上 (1) コミュニティバスの運行 担当：街づくり総務課</p>	<p>取り組み内容 市内をより移動し易くするために、コミュニティバスを運行します。 (対象事業：コミュニティバス運行事業)</p>														
	<p>平成24～26年度の実施状況 ○コミュニティバス「のろっと」を南北2ルートで運行しました。 ・運行本数（1日あたり） 北部ルート(約15km)右回り・左回り 合計 12本 南部ルート(約20km) 合計 11本</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>332,426人</td> <td>330,080人</td> <td>333,643人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	年間利用者数	332,426人	330,080人	333,643人						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度											
	年間利用者数	332,426人	330,080人	333,643人											
<p><平成26年度> ○市内4地域においてコミュニティバス「やまとんGO」の本格運行を開始しました。(※)</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>先発地域 (期間6ヶ月)</th> <th>後発地域 (期間3ヶ月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行地域</td> <td>中央林間西側地域 相模大塚地域</td> <td>深見地域 桜ヶ丘地域</td> </tr> <tr> <td>運行本数</td> <td>1地域44便/日</td> <td>1地域44便/日</td> </tr> <tr> <td>運賃</td> <td colspan="2">小学生以上150円</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>53,030人</td> <td>16,528人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 先発地域は平成26年10月から、後発地域は平成27年1月から本格運行を開始しました。</p>		先発地域 (期間6ヶ月)	後発地域 (期間3ヶ月)	運行地域	中央林間西側地域 相模大塚地域	深見地域 桜ヶ丘地域	運行本数	1地域44便/日	1地域44便/日	運賃	小学生以上150円		利用者数	53,030人	16,528人
	先発地域 (期間6ヶ月)	後発地域 (期間3ヶ月)													
運行地域	中央林間西側地域 相模大塚地域	深見地域 桜ヶ丘地域													
運行本数	1地域44便/日	1地域44便/日													
運賃	小学生以上150円														
利用者数	53,030人	16,528人													
<p>公共交通機関の 利便性の向上 (2) 協働による「のりあい」への支援 担当：街づくり総務課</p>	<p>取り組み内容 交通の利便性向上を促進するため、市民による地域交通（のりあい）創出に向けた取り組みに対し、車両確保や燃料費負担などの支援を行います。 (対象事業：地域公共交通施策事業)</p>														
	<p>平成24～26年度の実施状況 ○加齢による体力の低下や子育ての負担などにより、移動に制約のある地域住民の外出支援に取り組みました。 ○運行地域の9自治会が外出支援に協力して取り組むことにより、地域の防犯や交通安全意識の醸成、外出によるコミュニケーションの活性化、健康増進等に貢献しました。 ・支援内容：平成26年12月まで車両リース（2台分） 平成27年1月から車両2台購入 燃料費 ・実施地域：西鶴間、上草柳地域（1日15周）</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>15,903人</td> <td>16,344人</td> <td>17,548人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	利用者数	15,903人	16,344人	17,548人						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度											
	利用者数	15,903人	16,344人	17,548人											

<p>自転車利用環境の整備</p> <p>担当：道路安全対策課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>利便性が高く、市民が安全に安心して自転車を利用できる環境を整備します。</p> <p>(対象事業：自転車利用環境推進事業)</p>											
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○昨年度制定された「やまと自転車憲章」をチラシやラジオを通じて周知しました。</p> <p>○自転車通行空間確保のため、自転車レーンの青色カラー舗装やナビマークの整備を行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラー舗装</td> <td>1. 1 km</td> <td>1. 6 km</td> <td>8. 8 km</td> </tr> <tr> <td>ナビマーク</td> <td>0. 7 km</td> <td>2. 6 km</td> <td>16. 0 km</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	カラー舗装	1. 1 km	1. 6 km	8. 8 km	ナビマーク	0. 7 km	2. 6 km
	平成24年度	平成25年度	平成26年度									
カラー舗装	1. 1 km	1. 6 km	8. 8 km									
ナビマーク	0. 7 km	2. 6 km	16. 0 km									
<p>路上喫煙の防止</p> <p>担当：生活環境保全課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>路上喫煙重点禁止区域と禁止区域を設定し、路上での喫煙を規制することにより、清潔で、誰もが安全、安心を感じられる快適な生活環境を保持します。</p> <p>(対象事業：路上喫煙防止対策事業)</p>											
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○「大和市路上喫煙の防止に関する条例」に基づき、路上喫煙の防止を図り、被害や迷惑の防止に努めました。</p> <p>○路上喫煙防止指導員（7人）が、路上喫煙重点禁止区域である大和駅周辺を中心に路上喫煙者への注意や指導を行うとともに、条例の普及啓発も実施しました。</p>											



<p>街並み美化の推進</p> <p>担当：街づくり推進課 生活環境保全課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>違反はり紙・立て看板等の簡易除却を推進するとともに、ポイ捨てや犬のふんの放置を防止し、快適で心地よい都市空間を創出します。</p> <p>(対象事業：屋外広告物対策事業、不法投棄物未然防止事業)</p>			
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○違反屋外広告物の簡易除却（はり紙、はり札、立看板）活動を随時実施しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	除却数	379個	650個	502個
	活動回数	90回	106回	67回
	参加者数	297人	292人	375人
	<p>○県下一斉に屋外広告の日（9月10日）に違反屋外広告物除却キャンペーンを実施しました。</p> <p>・実施場所：中央林間・南林間・大和・高座渋谷各駅周辺、幹線道路</p> <p>・参加者：東京電力、NTT、青少年相談員、少年補導員、大和警察署、宅建協会、除却協力員、市</p> <p>○違反屋外広告物除却協力員講習会を開催しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	実施回数	3回	4回	4回
	受講者数	7人	11人	8人
登録者数	319人	328人	317人	
<p>○市内全域で不法投棄及びポイ捨て等の監視パトロールを実施しました。</p> <p>○ごみ収集車で放送を流し、ポイ捨て防止の啓発を実施しました。</p> <p>○犬の狂犬病予防接種時に、犬のふんの放置禁止についてのチラシ配布を行い、ポイ捨て防止の啓発活動を行いました。</p> <p>○路上喫煙防止とポイ捨て等の防止についてのチラシ配布を市内各駅で行い、ポイ捨て防止の啓発活動を行いました。</p>				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
チラシ配布枚数	—	1,600枚	3,500枚	

外出したくなるまちづくり

心身の健康を維持するためには、家にこもらず、外に出ることが重要です。大和市では、歩くこと、運動すること、人と出会うこと、文化に触れることや学習を楽しむことなどにより、心身をリフレッシュすることが、健康寿命の延伸につながると考えています。

こうしたことから、大和市は市民の皆様が外出したくなるようなまちづくりを目指しています。

外出を支える地域の足

大和市では、子どもからご高齢の方まで多くの市民が、安心して外出できることはもちろん、外出を通じて人々の交流が盛んになり、日常生活の中に「楽しさ」、「便利さ」、「面白さ」などが膨らむようにしていきたいと考えています。

大和市では、平成 26 年度から、中央林間西側・相模大塚・深見・桜ヶ丘の 4 地域で、コミュニティバス「やまとんGO」の運行を開始しました。

さらに平成 27 年 10 月から、市の南部と北部を走る「のろっと」の北部ルートを再編し、駅や商業施設などにアクセスしやすくしたとともに、朝 7 時台～夕方 7 時台に運行時間帯を拡大しました。

また、西鶴間・上草柳地域では、地域住民との協働で「のりあい」の運営を行っています。



「のろっと」

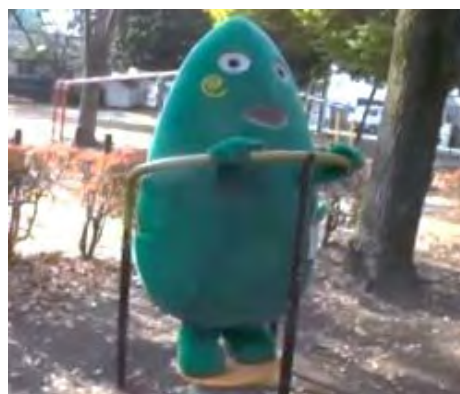
健康遊具で健康に

健康遊具とは、誰でも気軽に簡単な運動ができる遊具です。市では平成 26 年度から平成 29 年度までの間に、市内約 100 ヶ所の公園への健康遊具の設置を進めています。

また、遊具の正しい使い方や運動のコツをわかりやすく解説する健康遊具体験会を各地で開催しています。

加齢による身体機能の低下や運動不足を防ぐために、幅広い年齢層の方に、個々の体力に合わせて楽しく運動していただけます。

また、地域の皆様の交流の場にしていればとも考えています。



ヤマトンも健康遊具を楽しんでいます

「ぷらっと中央林間」

中央林間駅西口に地域の相談所・居場所として「ぷらっと中央林間」があります。

老若男女問わず、地域の方々が気軽に立ち寄り、世代間交流や、行政への相談などをしていただくことができます。

日々の憩いや交流の場として、ぜひご利用ください。

所在地： 大和市中央林間 3-11-20

小田急中央林間駅改札口から徒歩 2 分

開所時間：土曜日、日曜日を含む午前 10 時～午後 6 時
(毎週水曜日、祝祭日、年末年始は閉所日)



図書館で健康に

平成 28 年 11 月に大和駅東側にオープンする文化創造拠点に開設される図書館は、人々が日々出かけたくなる「健康図書館」をコンセプトに整備します。

健康に関する図書の充実、健康チェック器具の設置、健康に関するセミナーの開催などを通じて、より多くの市民に図書館に足を運んでもらい、一人ひとりの心身の健康増進に繋げていきたいと考えています。



文化創造拠点（施設イメージ）

（大和駅東側第 4 地区市街地再開発組合提供）

重点施策 3-2 緑化の推進

緑地の保全 担当：みどり公園課	取り組み内容 市内に残る貴重な大規模緑地を将来にわたり保全します。 (対象事業：緑地保全事業、大規模緑地整備事業)																
	平成24～26年度の実施状況 ○市街化調整区域内の山林を賃貸借契約により保全しました。 ○「その場所(緑地)の専門家」として調査・説明・ガイド・保全を行う「トコロジスト養成講座」を実施しました。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>7人</td> <td>6人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	実施回数	4回	4回	4回	受講者数	7人	6人	8人				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度													
実施回数	4回	4回	4回														
受講者数	7人	6人	8人														
○トコロジスト養成講座受講者による活動発表会を実施しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>32人</td> <td>27人</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	参加者数	32人	27人	25人									
	平成24年度	平成25年度	平成26年度														
参加者数	32人	27人	25人														
市街化区域の緑の保全 担当：みどり公園課	取り組み内容 保存樹林、保存生垣、保存樹木を一定要件のもとに指定し、それぞれの規定に応じて緑化奨励金を支給し、緑を保全します。 (対象事業：保存樹林等支援事業)																
	平成24～26年度の実施状況 ○市街化区域内の山林等を保全するため、地権者と協定を締結しました。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保存樹林</td> <td>171件</td> <td>166件</td> <td>159件</td> </tr> <tr> <td>保存生垣</td> <td>188件</td> <td>184件</td> <td>185件</td> </tr> <tr> <td>保存樹木</td> <td>40件</td> <td>39件</td> <td>37件</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	保存樹林	171件	166件	159件	保存生垣	188件	184件	185件	保存樹木	40件	39件	37件
		平成24年度	平成25年度	平成26年度													
保存樹林	171件	166件	159件														
保存生垣	188件	184件	185件														
保存樹木	40件	39件	37件														
緑のカーテンの推進 担当：みどり公園課 環境総務課	取り組み内容 市民を対象に「緑のカーテンづくり方教室」を開催します。また市内の小中学校にゴーヤ、へちま、ひょうたんの緑のカーテンを設置し、緑化を図ります。 (対象事業：緑化施策の企画・調整・推進事業、環境意識啓発事業)																
	平成24～26年度の実施状況 ○講師を招いて、苗の育て方、緑のカーテンの作り方、設置の仕方の実演を行い、一般家庭への緑のカーテンの普及を図りました。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>97人</td> <td>43人</td> <td>39人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	参加者数	97人	43人	39人								
		平成24年度	平成25年度	平成26年度													
参加者数	97人	43人	39人														
○小中学校に「緑のカーテン」を設置しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施校</td> <td>19校</td> <td>17校</td> <td>14校</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	実施校	19校	17校	14校									
	平成24年度	平成25年度	平成26年度														
実施校	19校	17校	14校														

<p>公園の維持・管理・整備 担当：みどり公園課</p>	<p>取り組み内容 市民が公園や大規模緑地を安全で快適に利用できるよう維持管理を行うとともに「ゆとりの森」などの公園を整備します。 (対象事業：街区公園等整備事業、既設公園等大規模改修事業、ゆとりの森整備事業など)</p>
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○次の公園の施設改修等を行いました。</p> <p>＜平成26年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮久保2号公園遊具改修工事 ・泉の森水車小屋屋根修繕工事 ・つきみ野5号公園防球ネット設置工事（北部地区） ・善光明公園防球ネット設置工事（南部地区） ・引地台公園給水設備改修工事 ・つきみ野5号公園外2公園時計設置工事 <p>＜平成25年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引地台温水プール加圧給水ポンプ交換補修工事 ・大和市グリーンアップセンター受変電設備補修工事 ・深見台1号公園外1公園時計設置工事 ・泉の森水車小屋修繕工事 ・八幡山公園と大和南二丁目公園の遊具改修工事 <p>＜平成24年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉の森緑のかけ橋改修・塗装工事 ・松の久保公園照明灯（2基）設置工事 ・長堀2号公園ネットフェンス設置 ・泉の森便所内ベビーシート等設置 <p>○ゆとりの森の整備を行いました。</p> <p>＜平成26年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模多目的スポーツ広場、南側駐車場などの整備を始めました。 <p>＜平成25年度～26年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート（8面）、中規模多目的スポーツ広場（4面）、バーベキュー広場（36サイト）などの整備が完了し、供用開始しました。 <p>＜平成24年度～25年度＞</p> <p>テニスコート、バーベキュー広場 中規模多目的スポーツ広場造成（3.2ha）</p> <p>＜平成26年度＞</p> <p>○渋谷6号公園の整備を行いました。</p> <p>＜平成24年度＞</p> <p>○名和公園の整備を行いました。</p>

重点施策 3-3 文化芸術の振興

芸術文化イベントの開催
担当：文化振興課
生涯学習センター

取り組み内容

市内の音楽・演劇団体に日頃の活動成果を合同発表する場と相互交流の場を提供します。また、文化祭やさくら文芸祭、プロの音楽イベント等を開催します。

(対象事業：文化芸術振興事業、音楽・演劇フェスティバル開催事業)

平成24～26年度の実施状況

<開催イベント>

○文化祭の開催

- ・一般公募展（書・絵画・写真）
- ・市民芸術祭
- ・特別企画展
 - 平成24年度：安藤泉展
 - 平成25年度：奥まゆみ展
 - 平成26年度：藤本忠生展

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般公募出品数		231点	241点	259点
来場者数		1,484人	1,249人	1,322人
市民 芸術祭	参加団体数	17団体	17団体	17団体
	来場者数	600人	600人	600人

○文芸祭の開催

- ・一般公募展（短歌・俳句・川柳）

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般公募出品数		248点	174点	152点
来場者数		619人	816人	933人

- ・朗読LIVE

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
来場者数		70人	40人	68人

○コミュニティ音楽館の開催

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催コミセン数		14館	15館	14館
来場者数		1,180人	1,182人	1,198人

○文化芸術事業の開催

- ・まちかど落語

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催回数		4回	(※) 3回	4回
来場者数		232人	140人	256人

※平成25年度のまちかど落語は、荒天のため1回中止

- ・YAMATOダンスフェスティバル

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加団体数		17団体	19団体	20団体
来場者数		543人	568人	568人

・大和タウン マンガ探訪記

	平成26年度
来場者数	810人

・大和文芸映画祭

	平成24年度	平成25年度
来場者数	432人	814人

○YAMATO ART100プロジェクトの実施

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加団体数	50団体	45団体	50団体
来場者数	105,484人	65,092人	122,004人

○演劇フェスティバル

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
来場者数	200人	220人	150人

○音楽フェスティバル

・吹奏楽の部

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
来場者数	600人	650人	600人

・合唱の部

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
来場者数	600人	650人	700人



<p>文化芸術による 魅力的な空間づくり</p> <p>担当：文化振興課</p>	<p>取り組み内容 これからの文化創造を牽引する若い世代の発表活動を支援するとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。</p> <p>(対象事業：文化創造担い手育成事業)</p>
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○「YAMATOイラストレーションデザインコンペ」入賞者を市のイベントのポスター等を制作するイラストレーターとして起用し、くらしの中で文化芸術に触れる機会を提供しました。</p> <p>【ポスター・チラシ・パンフレット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YAMATOダンスフェスティバルポスター、募集要項 ・YAMATO ART100ポスター、パンフレット ・大和市文化祭ポスター、チラシ ・大和市さくら文芸祭ポスター、チラシ ・やまと子ども伝統文化塾募集パンフレット ・やまと伝統文化フェスティバルポスター、チラシ ・福祉作文募集ポスター、チラシ ・「福祉の日」の集いポスター、チラシ ・特定健診受診案内 ・『あの手この手』表紙イラスト ・救急車適正利用ポスター ・議会広報PRポスター <p>【書籍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校副読本（社会） ・小学校副読本（理科） ・第8次大和市総合計画後期基本計画書 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YAMATOイラストレーションデザインコンペPR用しおり ・文化創造拠点工事仮囲い ・高座渋谷商店会マスコットキャラクター ・大和市ホームページ検索アイコン ・イオンモール大和店内展示イラスト



図書館資料等の充実 担当：図書館	<p>取り組み内容 図書資料等の充実を図り、利用者に提供します。また、知りたい、学びたいという市民の要望に応える情報拠点として、大和駅東側第4地区内に新図書館を整備します。 (対象事業：図書資料貸出事業)</p>															
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○利用者が求める資料を資料選定方針に基づき収集するとともに、未所蔵の資料については、公共図書館の相互貸借などにより提供しました。</p> <p>○新図書館の管理運営に関する事項を定めるため、図書館条例を改正し、指定管理者の選定を行いました。また、新図書館用の図書を購入しました。</p> <p>○図書取扱冊数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書貸出数</td> <td>1,063,273冊</td> <td>1,056,540冊</td> <td>1,063,157冊</td> </tr> <tr> <td>リクエスト・予約</td> <td>164,429冊</td> <td>166,054冊</td> <td>170,740冊</td> </tr> <tr> <td>購入数</td> <td>24,300冊</td> <td>23,351冊</td> <td>32,271冊</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	図書貸出数	1,063,273冊	1,056,540冊	1,063,157冊	リクエスト・予約	164,429冊	166,054冊	170,740冊	購入数	24,300冊	23,351冊
	平成24年度	平成25年度	平成26年度													
図書貸出数	1,063,273冊	1,056,540冊	1,063,157冊													
リクエスト・予約	164,429冊	166,054冊	170,740冊													
購入数	24,300冊	23,351冊	32,271冊													
学校図書館の充実 担当：指導室	<p>取り組み内容 市内の全小中学校への図書館司書の配置や、豊かな感性や情操、知性をはぐくむための学校図書館の蔵書整備など、学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。 (対象事業：小学校図書館教育推進事業・中学校図書館教育推進事業)</p>															
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○小・中学校図書館蔵書数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校図書館蔵書数</td> <td>189,202冊</td> <td>211,122冊</td> <td>226,121冊</td> </tr> <tr> <td>中学校図書館蔵書数</td> <td>105,585冊</td> <td>119,319冊</td> <td>133,568冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>○学校図書館司書及び司書教諭の連絡会や研修会を継続的に実施していることで、学校図書館の機能が高まり、読書活動が充実しています。</p> <p>○学習情報センターとしても使用頻度が増しています。</p> <p>○調べ学習などに適した本の選書・購入をしていくことで、学校図書館の活用を心がけていきます。</p>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	小学校図書館蔵書数	189,202冊	211,122冊	226,121冊	中学校図書館蔵書数	105,585冊	119,319冊	133,568冊			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度													
小学校図書館蔵書数	189,202冊	211,122冊	226,121冊													
中学校図書館蔵書数	105,585冊	119,319冊	133,568冊													

読書活動の推進

担当：図書館

取り組み内容

「こども読書力向上プラン」の推進や家庭での読書活動の普及を目指す「家読（うちどく）」の普及啓発など、各世代にわたって読書習慣を形成する機会を提供します。

（対象事業：読書活動推進事業）

平成24～26年度の実施状況

- 「家読^{うちどく}の推進」を行うため、夏休み期間に図書館・学習センター図書室を巡るスタンプラリーを実施し図書関連施設への来館を促進しました。
- 小学校低学年の親子を対象とした「調べる学習チャレンジ講座」やおすすめの本を紹介し合う「ビブリオバトル入門講座」を開催するなど、こどもが本と触れ合う機会をさらに増やすことができました。
- 毎月23日を「やまと家読の日」と定め、普及啓発のために家読ブックリスト及び家読ノートを作成しました。
- 「こども読書力向上プラン」に基づき、「こどもタイム」、「おひざでだっこのおはなし会」を実施しました。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
こどもタイム	29回 (9月開始)	51回	52回
おはなし会	6回 (10月開始)	12回	12回

- ブックスタートを実施し、ブックスタートパックを配布しました。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ブックスタート	36回	36回	36回
ブックスタートパック	2,051人	2,053人	2,052人

- 図書館や保育園等でのおはなし会を実施しました。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
おはなし会	81回	88回	88回

- 読書講演会、子ども読書活動推進講座を実施しました。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
読書講演会	3日実施 107名参加	3日実施 48名参加	3日実施 118名参加
子ども読書活動 推進講座	2日実施 56名参加	2日実施 32名参加	2日実施 70名参加



命を守ろうプロジェクト リーディングプロジェクト4

市民の健康増進の前提となるのが、市民の生命、身体を守ることです。犯罪や事故の発生を未然に防ぎ、病気を事前に予防するために、地域防犯の推進や利用しやすい検診制度の拡充などを進めていきます。

重点施策4-1 救急救命体制の充実

病気になったときや怪我をしたときに、すぐに適切な診療と治療が受けられる体制を整備します。

休日夜間急患診療所の運営

担当:健康づくり推進課

取り組み内容

休日、夜間の内科・小児科の軽症救急患者に、大和市地域医療センター休日夜間急患診療所で適切な一次救急医療を確保します。

(対象事業:休日夜間急患診療所運営事業)

平成24～26年度の実施状況

○年間を通じ、休日・夜間における救急患者を受け入れました
(地域医療センターにおいて大和市医師会に運営を委託して実施)。

<診療時間>

月曜日～土曜日	午後8時～11時
日曜日、祝日、振替休日	午前9時～正午 午後2時～5時、午後8時～11時

<診療体制> 医師、看護師、薬剤師 各1～2名

<受入実績>

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
昼間診療人数	6,178人	5,933人	6,303人
夜間診療人数	6,840人	6,653人	3,339人
総数	13,018人	12,586人	12,642人

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
内科診療人数	5,507人	5,122人	5,764人
小児科診療人数	7,511人	7,464人	6,878人
総数	13,018人	12,586人	12,642人

重症救急患者の受入体制の確保 担当:健康づくり推進課	取り組み内容 休日、夜間の内科・小児科の入院を必要とする中等症・重症の救急患者に、病院群輪番制病院で適切な二次救急医療を確保します。 (対象事業:夜間診療所運営支援事業)			
	平成24～26年度の実施状況 ○市内の5医療機関に運営費の一部を助成し、内科・小児科の適切な二次救急医療を確保しました。			
	<診療時間>			
	月曜日～金曜日		午後5時～翌日午前8時	
土曜日		午後1時～翌日午前8時		
日曜日、祝日、年末年始		午前8時～翌日午前8時		
<受入実績>				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
内科診療人数	12,513人	12,038人	11,728人	
小児科診療人数	2,493人	2,680人	2,568人	
その他	12,208人	11,391人	10,781人	
総数	27,214人	26,109人	25,077人	
AEDの整備 担当:救急救命課	取り組み内容 公共施設や24時間営業のコンビニエンスストアにAED(自動体外式除細動器)を設置するほか、事業所が自主設置したAEDを市民が使用できる「やまとAED救急ステーション」制度により、いつでも、どこでも、誰でも、AEDを活用して早期に応急手当を行える環境を整備します。 (対象事業:応急手当普及啓発事業、救護活動用機材整備事業)			
	平成24～26年度の実施状況 ○市内24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置しました。			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	設置店舗	7社79店舗	7社86店舗	7社94店舗
○「やまとAED救急ステーション」として事業所を認定しました。				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
認定事業所	71か所	78か所	85か所	
<平成26年度> ○AEDの設置場所の増加に伴い「AEDマップ」を更新しました。				

<p>救急隊員の知識・技術の向上</p> <p>担当:救急救命課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>救急救命士を含む救急隊員に各種研修を実施するとともに、教育セミナー等に派遣し、救急救命処置の知識・技術を高め、救命率の向上を図ります。</p> <p>(対象事業:メディカルコントロール推進事業、高度救急資機材等整備事業)</p>			
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○平成25年度の救急救命士法の一部改正により、救急救命士の処置範囲が拡大されました。資格を取得することにより、心肺停止前の傷病者に対し血糖の測定、低血糖傷病者に対するブドウ糖溶液投与、重度傷病者に対して、静脈路確保と輸液の投与が行えるようになりました。</p> <p>○心肺停止傷病者にビデオ喉頭鏡を使用し、気管へのチューブの挿入や薬剤(アドレナリン)の投与及び心肺機能停止前の重度傷病者に静脈路確保、低血糖傷病者に血糖測定やブドウ糖の投与に必要な資格を取得しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	救急救命士	35人	35人	37人
	指導救命士養成 研修受講者	—	—	1人
	気管挿管資格者	31人 (1増)	32人 (1増)	34人 (2増)
	ビデオ喉頭鏡 気管挿管資格者	—	—	7人 (新規)
	薬剤投与認定者	29人 (1増)	30人 (1増)	31人 (1増)
	拡大2行為資格者	—	10人 (新規)	19人 (9増)
	<p>○救急隊員等の教育研修および救急救命士の生涯研修を実施しました。</p>			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
教育研修	延べ136人	延べ154人	延べ135人	
生涯研修	23人	28人	19人	
<p>○高度救命処置訓練用人形を使用し、救急隊員が行う救命処置の訓練を実施しました。</p>				

小児救急パンフレットの発行 担当:健康づくり推進課	取り組み内容 子どもの急な発熱やけが等に対し、家庭で迅速、適切に対応するための情報を提供して保護者の不安を解消します。 (対象事業:休日夜間急患診療所運営事業)														
	平成24～26年度の実施状況 ○子どもを持つ保護者を対象とした小児救急パンフレット(保存版)を、担当課窓口等で配布しました。														
救急医療情報キットの配布 担当:健康づくり推進課	取り組み内容 いざというときに適切な医療行為を受けられるように、医療情報等記入票入りのプラスチックの容器(救急医療情報キット)を配布します。 (対象事業:救急医療情報活用事業)														
	平成24～26年度の実施状況 ○担当課、各学習センター、市内5薬局において配布を行いました。 ○救急活動時に活用しました。														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布数</td> <td>2,596本</td> <td>1,164本</td> <td>1,281本</td> </tr> <tr> <td>救急活動時の活用件数</td> <td>8件</td> <td>12件</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table>					平成24年度	平成25年度	平成26年度	配布数	2,596本	1,164本	1,281本	救急活動時の活用件数	8件	12件	4件
	平成24年度	平成25年度	平成26年度												
配布数	2,596本	1,164本	1,281本												
救急活動時の活用件数	8件	12件	4件												
※累積配布数:9,039本															
24時間健康相談の実施 担当:健康づくり推進課	取り組み内容 健康等に関する不安の解消や市民の健康の維持増進を図るため、保健師などの専門職が24時間体制で相談に応じます。 (対象事業:健康相談・教育事業)														
	平成24～26年度の実施状況 ○専門職による24時間電話相談を、委託により実施しました。														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>21,357件</td> <td>19,476件</td> <td>35,922件</td> </tr> </tbody> </table>					平成24年度	平成25年度	平成26年度	相談件数	21,357件	19,476件	35,922件				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度												
相談件数	21,357件	19,476件	35,922件												

「大和市立病院」のあゆみ

大和市立病院は、昭和30年に「大和町国民健康保険直営病院」として、病床数24床、内科・外科・産婦人科の3つの診療科で産声を上げました。その後、大和市の発展と歩みを重ねるように病床数、診療科数を増やし、昭和43年2月には「大和市立病院」に名称変更いたしました。平成5年、全面建て替えにより現在の病院建物に移った後も診療機能の強化に努め、現在では、病床数403床、28の診療科をもつ地域の基幹病院として歩み続けています。

大和市と共に成長を続けてきた市立病院ですが、平成19年、全国的な医師不足の煽りを受け、産婦人科医師と小児科医師が各1名になるという危機的状況に直面し、分娩予約や小児科の入院を休止するなどの事態に陥りました。また、同じ時期に行われた7対1入院基本料の新設により起こった全国的な看護師不足も、通常業務へ多大な影響を及ぼし、収益は急速に悪化して年間約10億円の赤字を計上する事態となりました。

市立病院では、この状況を改善させるため平成21年3月に公立病院改革プランに位置付けした「大和市立病院経営計画」を策定し、市全体を挙げて経営改革に取り組みました。その結果、平成23年度決算において21年ぶりに黒字を確保することができ、それ以降、経営は順調に改善し安定化しつつあります。

経営状況を好転させた要因としては、大和市の掲げる「健康都市」の理念が、医師を派遣する大学教室をはじめとする各方面の医療従事者の共感を呼び、医師や看護職員を確保することができ、結果として経営改善に繋がったと捉えています。

こうした経営改善に努めるとともに、いざというときに市民が安心して医療サービスを受けられるよう、基幹病院としての機能強化にも積極的に取り組んできました。平成22年3月には7対1看護基準を取得して手厚い看護体制を整えるとともに、平成24年4月には県央地域唯一の地域がん診療連携拠点病院に指定されました。その後、平成26年3月には救急棟を整備し、救急受け入れ態勢を充実させたほか化学療法室や内視鏡室を拡充して、がん治療のための体制を強化しました。

このほか同年5月には歯科口腔外科を、平成27年4月には形成外科を新設し、更なる診療機能の強化を図ってきました。

今後も、「健康都市やまと」の実現のため、地域の基幹病院として、より一層のサービスの向上と経営改善に努めていくことにより、市民の皆様からはもちろん、医療従事者からも選ばれる病院を目指します。

重点施策４－２ 健康診査、少子化対策の充実

病気を予防するためには、定期的な健康チェックが重要です。少しでも多くの方が検診や健康診査を受けられるように、受診しやすい環境づくりを進めます。また、少子化対策として、出産に至るまでの支援をはじめとした、子どもを産み育てやすい環境を整えます。

がん対策 担当：健康づくり推進課	取り組み内容 健康診査や各種がん検診を実施し、市民の生活習慣病の早期発見・早期治療に努めます。 (対象事業：健康診査事業)			
	平成24～26年度の実施状況 ○集団検診において、乳がんマンモグラフィ検診を実施しました。			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	実施回数	30回	32回	33回
	受診者数	1,972人	2,017人	2,080人
	○各種がん検診を実施しました。			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
集団検診場所	5会場	5会場	5会場	
検診医療機関	72施設	76施設	78施設	
肺がん受診者数	9,602人	10,511人	11,137人	
胃がん受診者数	10,070人	11,439人	12,701人	
大腸がん受診者数	11,696人	12,865人	14,142人	
乳がん受診者数	7,779人	8,547人	10,351人	
子宮がん受診者数	9,204人	9,954人	11,055人	
受診者総数	48,351人	53,316人	59,386人	

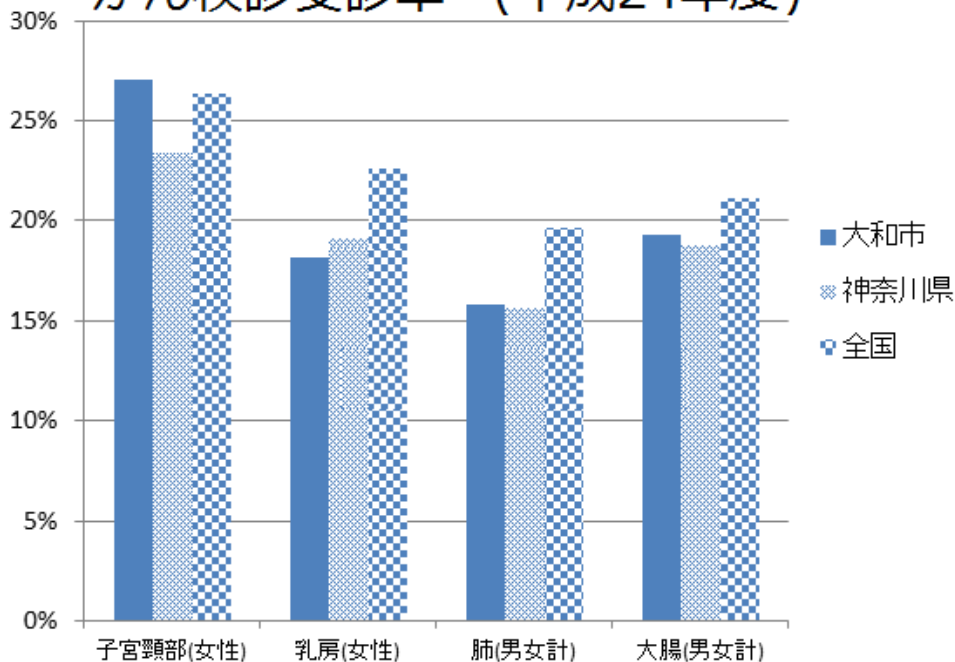
いのちを守るがん検診

平成27年も女優の川島なお美さんのご逝去やタレントの北斗晶さんの乳がん手術など、がんは大きな話題となりました。

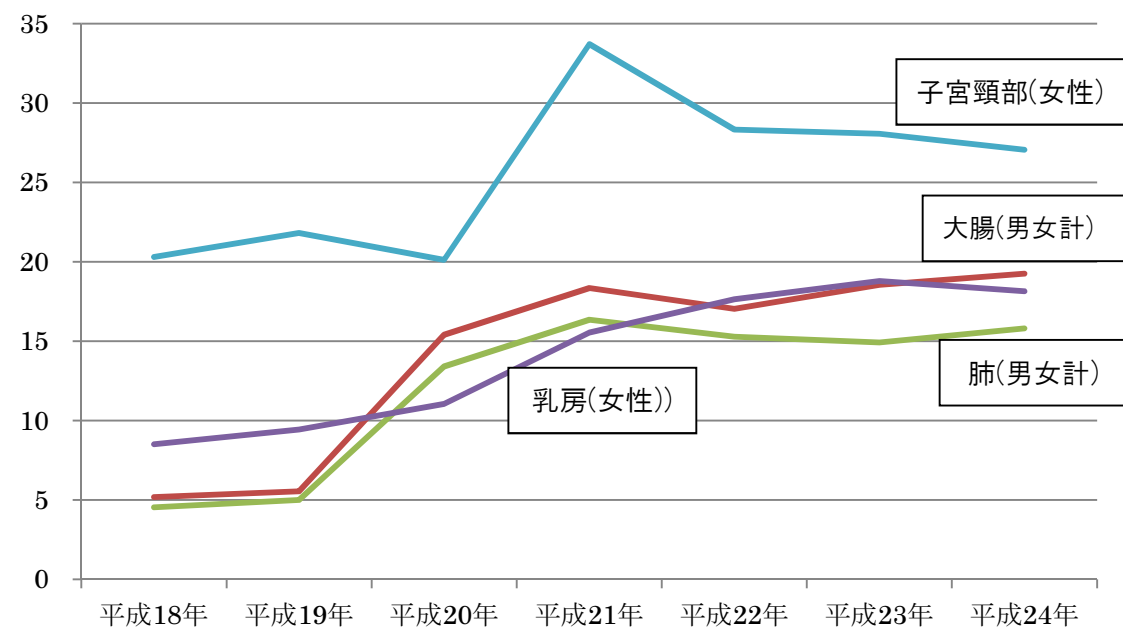
がんを防ぐためには、普段からのがん検診が欠かせません。がん検診は、体にがんがあるかどうかを調べる検査です。肺や大腸、乳房、子宮など、がんができる部分が変わればがんの特徴も変わってきます。がん検診では、それぞれのがんを調べるのに適した検査が受けられます

大和市では毎年4月から翌年3月までの期間で、市民の皆様を受けていただけるがん検診を実施しています。ご自身の健康を守るために、年に一度、必ずご受診ください。

がん検診受診率（平成24年度）



大和市のがん検診受診率（平成18~24年度）



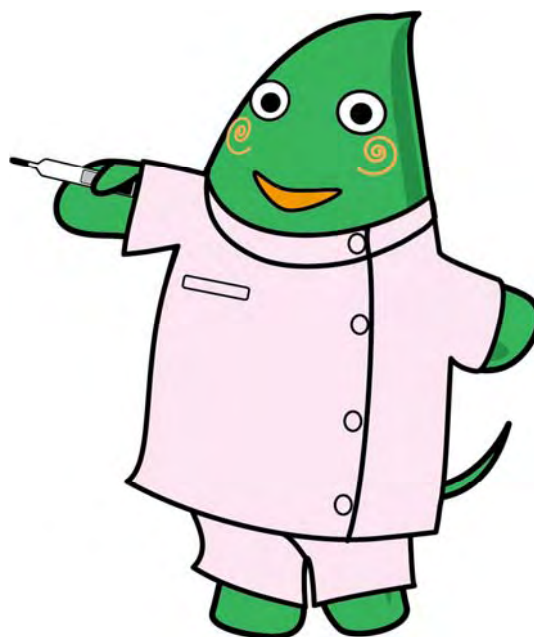
グラフ作成データ出典：独立行政法人国立がんセンターがん対策情報センター

「がん検診受診率データ（市区町村による地域保健・健康増進事業報告データ）」

([http://ganjoho.jp/data/reg_stat/statistics/dl/City_Cancer_Screening_Rate\(2006-2012\).xls](http://ganjoho.jp/data/reg_stat/statistics/dl/City_Cancer_Screening_Rate(2006-2012).xls))

<p>メタボリック シンドローム対策</p> <p>担当:保険年金課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>メタボリックシンドロームを判定する健康診査を実施します。 メタボリックシンドローム該当者等に、医師、保健師、管理栄養士が階層化されたレベルに応じた保健指導を行います。</p> <p>(対象事業:特定健康診査事業、特定保健指導事業)</p>												
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象に特定健診を実施しました。</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度 (確定値)</th> <th>平成25年度 (確定値)</th> <th>平成26年度 (確定値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>42,637人</td> <td>42,518人</td> <td>41,871人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>33.6%</td> <td>34.5%</td> <td>35.1%</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度 (確定値)	平成25年度 (確定値)	平成26年度 (確定値)	対象者数	42,637人	42,518人	41,871人	受診率	33.6%	34.5%	35.1%
		平成24年度 (確定値)	平成25年度 (確定値)	平成26年度 (確定値)									
	対象者数	42,637人	42,518人	41,871人									
受診率	33.6%	34.5%	35.1%										
<p>○後期高齢者医療制度加入者を対象に長寿健診を実施しました。</p>													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度 (確定値)</th> <th>平成25年度 (確定値)</th> <th>平成26年度 (確定値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>18,269人</td> <td>19,289人</td> <td>20,294人</td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>42.1%</td> <td>43.6%</td> <td>43.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○市内12医療機関に委託し、特定保健指導を実施しました。</p>		平成24年度 (確定値)	平成25年度 (確定値)	平成26年度 (確定値)	対象者数	18,269人	19,289人	20,294人	受診率	42.1%	43.6%	43.9%	
	平成24年度 (確定値)	平成25年度 (確定値)	平成26年度 (確定値)										
対象者数	18,269人	19,289人	20,294人										
受診率	42.1%	43.6%	43.9%										
<p>女性の健康診査</p> <p>担当:健康づくり推進課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>女性健康診査、健診受診後の相談及び医師による講演会や保健師・管理栄養士による健康相談・教育を実施し、一人ひとりの健康づくりに役立ててもらうとともに、疾病の早期発見を行います。</p> <p>(対象事業:女性の健康診査事業)</p>												
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○18歳～39歳の女性を対象に健康診査を実施しました。</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>495人</td> <td>489人</td> <td>504人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	実施回数	6回	6回	6回	受診者数	495人	489人	504人
		平成24年度	平成25年度	平成26年度									
	実施回数	6回	6回	6回									
受診者数	495人	489人	504人										
<p><平成26年度></p> <p>○女性の健康づくりとがん検診の普及啓発を目的に医師・乳がん体験者による講演会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:1回 参加者人数:47人 <p>○健診後の個別相談を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別相談:458人 (内訳) 電話相談86人、面接372人 													
<p><平成25年度></p> <p>○より多くの女性への健康増進を目的に医師による講演会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:1回 参加者数:55人 <p>○個別相談・指導を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計201人 (内訳) 電話:48人 訪問:1人 面接:152人 													

	<p><平成24年度></p> <p>○受診者に対する結果説明会において、医師・管理栄養士・保健師による相談コーナーを設け、健診後の保健指導を行いました。</p> <p>・相談回数：9回 保健指導数：延べ455人</p>																								
<p>感染症の予防と対策</p> <p>担当：健康づくり推進課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>新型インフルエンザ対策行動計画と業務対応マニュアルを作成し、不測の事態に備えています。また、16歳以上で健康診断を受ける機会のない方を対象とした結核検診を行います。</p> <p>(対象事業：感染症予防事業)</p> <p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○16歳以上で健康診断を受ける機会のない方を対象に、市内5会場で結核検診を実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="545 680 1374 817"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>38回</td> <td>38回</td> <td>40回</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>594人</td> <td>504人</td> <td>535人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・松風園の入所者に対しては、労働衛生福祉協会の診療所にて実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="545 898 1374 1034"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>8回</td> <td>8回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>52人</td> <td>57人</td> <td>59人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	実施回数	38回	38回	40回	受診者数	594人	504人	535人		平成24年度	平成25年度	平成26年度	実施回数	8回	8回	8回	受診者数	52人	57人	59人
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																						
実施回数	38回	38回	40回																						
受診者数	594人	504人	535人																						
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																						
実施回数	8回	8回	8回																						
受診者数	52人	57人	59人																						



少子化対策の充実 担当：すくすく子育て課	取り組み内容 妊婦健康診査に係る費用の一部を助成し、定期的に受診を勧めることで、妊娠中の健康管理ができるようにします。また、不妊症、不育症治療費を助成し、子どもの誕生を願う夫婦に対する支援を行います。さらに、第3子以降の出産費用を助成します。 (対象事業：妊婦健康診査事業、不妊治療費助成事業、不育症治療費助成事業、出産費助成事業)			
	平成24～26年度の実施状況 ○妊婦健康診査の助成を実施しました。			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	延べ件数	25,650件	25,744件	26,615件
妊娠届出数	2,319件	2,327件	2,219件	
○不妊・不育症治療費助成を実施しました。				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
一般不妊治療	157件	106件	142件	
特定不妊治療	37件	228件	286件	
不育症治療	10件	14件	3件	
○出産費用助成事業を実施しました。(平成26年10月開始)				
	平成26年度			
出産費用助成	29件			
子育てへの支援(1) 子育て相談 担当： ほいく課 すくすく子育て課	取り組み内容 子育て支援センターでの子育て相談や子育てサロンなどの実施、おおむね生後4か月までの乳児のいる家庭を全戸訪問することなどにより、子育て家庭への必要な支援を行います。また、低体重児とその保護者の健康管理を行うとともに、成長段階にあった情報提供や育児支援を行います。 (対象事業：子育て支援センター運営事業、妊産婦・新生児等訪問事業、低体重児育児支援事業)			
	平成24～26年度の実施状況 ○子育て支援センター(大和市まごころ地域福祉センター2階)において、以下の事業を実施しました。			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	子育て相談	2,155件	2,216件	3,136件
子育てサロン利用者数	19,751人	21,803人	23,887人	
・<平成25年度>お家の中の事故防止講座： 全3回、延べ114組が参加				
○おおむね生後4か月までの乳児がいる家庭の全戸訪問を実施しました。また、妊産婦や乳幼児への継続支援のため、保健師や管理栄養士が家庭訪問を実施しました。				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
訪問件数	1,845件	1,979件	2,002件	
家庭訪問延べ人数	4,587人	5,268人	5,376人	

子育てへの支援（２） 中学生までの 小児医療費助成 担当：こども総務課	取り組み内容 子どもが医療機関で通院・入院した際に支払う保険適用分医療費の自己負担分を中学校卒業まで助成します。 （※平成２６年７月から、通院の助成対象を中学校卒業までに拡大しました。） （対象事業：小児医療費助成制度）											
	平成２４～２６年度の実施状況 ○小学校卒業までの通院、入院と中学校卒業までの入院を対象として、助成を行いました。 ○平成２６年７月から、通院の対象を中学校卒業までに引き上げ、医療費の助成を行いました。											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成２４年度</th> <th>平成２５年度</th> <th>平成２６年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診件数</td> <td>358,534 件</td> <td>353,367 件</td> <td>374,891 件</td> </tr> <tr> <td>医療助成費</td> <td>612,672 千円</td> <td>606,478 千円</td> <td>654,879 千円</td> </tr> </tbody> </table>		平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	受診件数	358,534 件	353,367 件	374,891 件	医療助成費	612,672 千円	606,478 千円
	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度									
受診件数	358,534 件	353,367 件	374,891 件									
医療助成費	612,672 千円	606,478 千円	654,879 千円									
子育てへの支援（３） 第３子以降の 学校給食費助成 担当：保健給食課	取り組み内容 子育て世帯の経済負担を軽減するため、第３子以降の学校給食費を全額助成します。 （対象事業：学校給食費助成事業）											
	平成２６年度の実施状況（平成２６年度からの新規事業です。） ○第３子以降の児童・生徒に係る学校給食費を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図りました。 ・助成件数 平成２６年度：１４７件											



<p>きめの細かい保育・ 子育てサービスの実施</p> <p>担当：ほいく課 すくすく子育て課 こども・青少年課</p>	<p>取り組み内容 保育・子育てに関する保護者の希望を丁寧に把握、分析し、ニーズに沿ったサービスを提供します。 (対象事業：ファミリーサポートセンター事業、民間保育所建設・増設支援事業、休日保育事業、放課後児童クラブ事業、放課後子ども教室管理運営事業など)</p>				
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○民間認可保育所及び認定こども園の創設を支援しました。</p>				
	施設名		定員	開所日	
	アスク大和東保育園		60	平成26年10月1日	
	西鶴間保育園		72	平成27年 2月1日	
	中央林間もりのこ保育園		90	平成27年 4月1日	
	アスク鶴間保育園		60		
	認定こども園高座みどり幼稚園		60		
	保育園まめわかば		40		
	高座渋谷ゆめいろ保育園		55		
大和ひまわり保育園		60			
あっぷる園		69			
ほいくえん虹の子		46			
もこもこ保育園		38			
<p>○子育て家庭の会員組織であるファミリーサポートセンターにおいて、子どもの預かりや送り迎えのサービスを行いました。</p>					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
会員数	563人	824人	1,057人		
利用件数	8,902件	9,101件	9,142件		
<p>○市内で認可保育所に入所している児童を対象に、日曜日・祝日等の保育を実施しました。</p>					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
利用実績	64人	106人	199人		
<p>○放課後に留守家庭等の児童を預かり、安全な生活の場を提供しました。</p>					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
公営児童クラブ	752人	782人	827人		
民営児童クラブ	110人	127人	121人		
<p>○地域の方々からなる安全管理員が企画した様々な遊びや交流活動等を、放課後の教室や校庭等で実施しました。</p>					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
実施校	19校	19校	19校		
延べ開催日数	1,131日	1,692日	1,700日		

子どもが生き生きと育つまち

子どもはご家庭にとっても社会にとっても宝です。大和市は出産と子育てをサポートするために、多様な取り組みを進めています。

出産にあたり、大和市は神奈川県内で唯一、一般不妊治療、特定不妊治療、不育症治療のすべてについて、治療費を助成しています。さらに平成26年の秋からは、新たに第3子以降の出産費用についても助成をスタートしました。

出産後は生後4か月までの乳児がいる家庭の全戸訪問や子育て支援センターでの子育て相談などにより、子育てをされている保護者をサポートしています。

子育て家庭を支えるため、大和市ではきめの細かい保育・子育てサービスに努めています。保育園・認定こども園等の拡充はもとより、市内の認可保育所に入所している児童を対象とした日曜日・祝日等の保育や、ファミリーサポートセンター事業による子どもの預かりや送り迎え、放課後児童クラブによる児童預かり、放課後の教室や校庭での様々な遊びや交流活動の実施など、共働きのご家庭の子育てをサポートする環境を整えています。また平成27年度からは、保育サービスに関する専門相談員「保育コンシェルジュ」による相談サービスや、保育所や幼稚園などでお子さんが熱を出したときなどに、迎えや預かりをする「病児おむかえサービス」を開始しました。

子育て家庭の経済的な負担の軽減も重要です。大和市は、けがや病気による通院費を、中学校卒業まで助成しています。また、学校給食費についても、市立小・中学校や公立特別支援学校の小・中学校に通学しているご家庭に対して、第3子以降の学校給食費を全額助成しています。

また、子どもたちがすくすくと育つための安全なまちづくりも欠かせません。大和市ではPSメールにより保護者に対して迅速な情報伝達を行うほか、小学校通学路に街頭防犯カメラを重点的に設置しています。

大和市は今後も「健康創造都市やまと」として、親子のニーズに沿った多様な取り組みを進めてまいります。



重点施策４－３ 安心して支え合いながら暮らせる地域づくり

日々、安心して暮らすためには、事故や犯罪のおそれがないことが重要です。事故や犯罪が起こりにくい環境づくりを、身近なところから進めていきます。また、少子高齢化が進む中、健康な生活を送る上では、社会全体が相互に支え合い、地域や人々の間のつながりが深まることも重要です。安心して暮らすとともに健康を支え、守るための地域づくりを目指した取り組みを進めていきます。

児童・生徒の安全対策 担当：指導室	取り組み内容 PSメールの利用登録をした保護者へメール配信を行い、迅速な情報伝達によって児童の安全を守ります。 (対象事業：児童生徒安全対策事業)																				
	平成24～26年度の実施状況 ○PSメール登録																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>17,128人</td> <td>18,379人</td> <td>18,348人</td> </tr> <tr> <td>登録世帯数</td> <td>12,019世帯</td> <td>12,440世帯</td> <td>12,041世帯</td> </tr> <tr> <td>小中学校全世帯割合</td> <td>81%</td> <td>86%</td> <td>84%</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	登録者数	17,128人	18,379人	18,348人	登録世帯数	12,019世帯	12,440世帯	12,041世帯	小中学校全世帯割合	81%	86%	84%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度																	
登録者数	17,128人	18,379人	18,348人																		
登録世帯数	12,019世帯	12,440世帯	12,041世帯																		
小中学校全世帯割合	81%	86%	84%																		
○配信内容																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不審者情報</td> <td>107件</td> <td>156件</td> <td>154件</td> </tr> <tr> <td>登下校関係</td> <td>134件</td> <td>150件</td> <td>146件</td> </tr> <tr> <td>学校行事</td> <td>153件</td> <td>158件</td> <td>204件</td> </tr> <tr> <td>その他(※)</td> <td>132件</td> <td>153件</td> <td>102件</td> </tr> </tbody> </table> (※) その他：インフルエンザによる学年閉鎖の連絡やPTAに関する行事の連絡等を配信しました。		平成24年度	平成25年度	平成26年度	不審者情報	107件	156件	154件	登下校関係	134件	150件	146件	学校行事	153件	158件	204件	その他(※)	132件	153件	102件
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																		
不審者情報	107件	156件	154件																		
登下校関係	134件	150件	146件																		
学校行事	153件	158件	204件																		
その他(※)	132件	153件	102件																		
安全安心ステーション 高座渋谷の運営 担当：生活あんしん課	取り組み内容 駅周辺における犯罪発生の抑止及び自主防犯活動の支援、住民一人ひとりの自主防犯意識の向上を目的に、安全安心ステーション(愛称：高座渋谷えきばん)を運営します。 (対象事業：安全安心ステーション事業)																				
	平成24～26年度の実施状況 ○安全安心ステーション高座渋谷(愛称：高座渋谷えきばん)を年364日開所しました。 ○安全安心アドバイザーが警戒業務、案内業務、マナー違反者への注意業務等を行い、地域の安全確保に貢献しました。																				

<p>地域防犯活動の推進</p> <p>担当：生活あんしん課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>警察、防犯関係団体などと連携し防犯パトロールなどの啓発活動を行うとともに、防犯情報を広く市民に周知し、自主防犯意識の高揚と犯罪防止に努めます。また、「客引き行為、つきまとい行為等の防止に関する条例」に基づき、大和駅周辺を安全安心指導員が巡回し生活環境の改善に努めます。</p> <p>(対象事業：地域防犯活動推進事業)</p>			
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○市民を対象とした防犯教室等を開催しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	実施回数	33回	35回	37回
	参加人数	1,743人	2,085人	1,808人
	(シルバー講話分を含みます)			
	<p>○様々な広報手段を用いて防犯啓発情報を発信しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	広報やまと	7回	17回	11回
	やまとニュース	—	5回	3回
PSメールの配信	5回	54回	68回	
FMやまと出演	5回	4回	3回	
FMやまとCM放送	4回	4回	4回	
<p>○警察・関係各団体と協力し各種防犯キャンペーンを実施しました。</p>				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
実施回数	27回	28回	22回	
<p>○安全安心指導員による大和駅前の巡回パトロールを実施しました。</p>				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
実施回数	202日	243日	244日	
<p>(*)平成24年6月に事業を開始しました。</p>				

防犯カメラの整備 担当：生活あんしん課	取り組み内容 安全安心なまちづくりの一環として、必要な場所に街頭防犯カメラを設置して、犯罪発生の抑止と市民等の体感治安の向上を図ります。 (対象事業：街頭防犯カメラ整備事業)						
	平成24～26年度の実施状況 ○大和市内に以下の防犯カメラを設置しています (平成27年4月1日現在)						
			設置台数		設置箇所		
	駅周辺		56台		27箇所		
	通学路		156台		64箇所		
公園・広場		74台		27箇所			
警察要望箇所		118台		44箇所			
合計		404台		162箇所			
○各年度に設置した台数と箇所は以下のとおりです。							
		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
		台数	設置箇所	台数	設置箇所	台数	設置箇所
駅周辺		10台	5箇所 (2駅)	26台	13箇所 (6駅)	—	—
通学路		—	—	43台	21箇所	107台	40箇所
公園・広場		—	—	14台	7箇所	60台	20箇所
警察要望箇所		—	—	—	—	118台	44箇所
合計		10台	5箇所	83台	41箇所	285台	104箇所

<p>災害時における 必要な物資の確保</p> <p>担当：危機管理課</p>	<p>取り組み内容 災害時において市民生活に必要な物資を確保するため、防災備蓄倉庫に災害用非常食、携帯トイレ、災害対策用資機材を備蓄します。 (対象事業：防災備蓄品等整備事業)</p>																																							
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○災害時において必要となる非常食・消耗品を整備しました。 主な備蓄品の総量は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パンの缶詰</td> <td>26,752食</td> <td>38,280個</td> <td>30,200個</td> </tr> <tr> <td>アルファ化米</td> <td>57,600食</td> <td>65,250食</td> <td>65,250食</td> </tr> <tr> <td>おかゆ</td> <td>—</td> <td>16,250食</td> <td>21,250食</td> </tr> <tr> <td>粉ミルク</td> <td>1,272袋</td> <td>3,044袋</td> <td>1,776袋</td> </tr> <tr> <td>保存水</td> <td>—</td> <td>6,300リットル</td> <td>6,300リットル</td> </tr> <tr> <td>携帯トイレ</td> <td>124,800個</td> <td>150,000個</td> <td>150,000個</td> </tr> <tr> <td>大人用紙おむつ</td> <td>3,996枚</td> <td>3,996枚</td> <td>3,996枚</td> </tr> <tr> <td>子ども用紙おむつ</td> <td>10,098枚</td> <td>10,098枚</td> <td>10,098枚</td> </tr> <tr> <td>生理用ナプキン</td> <td>10,170枚</td> <td>10,170枚</td> <td>10,170枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>※賞味期限などにより、総量が増減しますが、必要量は確保しています。</p>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	パンの缶詰	26,752食	38,280個	30,200個	アルファ化米	57,600食	65,250食	65,250食	おかゆ	—	16,250食	21,250食	粉ミルク	1,272袋	3,044袋	1,776袋	保存水	—	6,300リットル	6,300リットル	携帯トイレ	124,800個	150,000個	150,000個	大人用紙おむつ	3,996枚	3,996枚	3,996枚	子ども用紙おむつ	10,098枚	10,098枚	10,098枚	生理用ナプキン	10,170枚	10,170枚
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																					
パンの缶詰	26,752食	38,280個	30,200個																																					
アルファ化米	57,600食	65,250食	65,250食																																					
おかゆ	—	16,250食	21,250食																																					
粉ミルク	1,272袋	3,044袋	1,776袋																																					
保存水	—	6,300リットル	6,300リットル																																					
携帯トイレ	124,800個	150,000個	150,000個																																					
大人用紙おむつ	3,996枚	3,996枚	3,996枚																																					
子ども用紙おむつ	10,098枚	10,098枚	10,098枚																																					
生理用ナプキン	10,170枚	10,170枚	10,170枚																																					
<p>災害発生時の 初期消火能力の充実</p> <p>担当：消防署管理課</p>	<p>取り組み内容 大規模災害時等に、火災が同時に多発した場合に備えて、自主防災組織等が速やかに初期消火及び延焼防止活動ができるようスタンドパイプ消火資機材を整備し、防災環境を整えます。 (対象事業：初期消火用資機材整備事業)</p> <p>平成25～26年度の実施状況（平成25年度の新規事業です）</p> <p>○スタンドパイプ消火資機材は、すでに市内146の自主防災組織に配付済みですが、平成26年度に新たにアンケート調査を実施し、73台を追加配付しました。</p> <p>○平成26年度に市内24時間営業のコンビニエンスストア6社と協定を締結し、スタンドパイプ消火資機材を31店舗に設置しました。</p> <p>○スタンドパイプ消火資機材の取り扱いDVDを作成し、146の自主防災組織へ配付しました。</p> <p>○151の自主防災組織のうち、地域防災訓練において102の自主防災組織が、訓練を実施しました。</p>																																							



<p>歩道の安全性向上</p> <p>担当：道路安全対策課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>横断防止柵、カラー舗装、歩道改良等を整備し、歩行者等の安全を確保します。</p> <p>(対象事業：歩道セーフティーアップ事業など)</p>																	
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○歩行者等が安全に安心して通行できるよう、狭あい歩道の急勾配箇所 の解消や透水性舗装の改良工事を行いました。</p> <p><平成26年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山泉の森線 279m <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山泉の森線 278m <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下鶴間83号線 292m <p>○歩道の整備を行いました。</p> <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南大和相模原線 大和東3丁目地内 歩道30m ・下鶴間桜森線 鶴間2丁目地内 歩道25m <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南大和相模原線 大和東3丁目地内 歩道124m ・福田相模原線 西鶴間地区 歩道105m 																	
<p>地域での介護予防支援</p> <p>担当：高齢福祉課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>地域包括支援センターを設置し、加齢により心身に不安を抱える市民に対する総合的な相談を実施することなどにより、心身の健康維持や介護予防の推進などのために必要な支援を行います。また、介護予防や認知症に対する正しい知識の普及や、地域における介護予防に資する活動を行う介護予防サポーター養成講座を実施します。</p> <p>(対象事業：包括的支援事業、高齢者一次予防事業)</p>																	
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○地域包括支援センターにおいて、介護等に関する相談や訪問、介護予防サポーター養成講座を実施しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>39,166件</td> <td>43,408件</td> <td>49,447件</td> </tr> <tr> <td>訪問件数</td> <td>10,097件</td> <td>10,797件</td> <td>11,924件</td> </tr> <tr> <td>講座受講者数</td> <td>141人</td> <td>172人</td> <td>135人</td> </tr> </tbody> </table>				平成24年度	平成25年度	平成26年度	相談件数	39,166件	43,408件	49,447件	訪問件数	10,097件	10,797件	11,924件	講座受講者数	141人	172人
	平成24年度	平成25年度	平成26年度															
相談件数	39,166件	43,408件	49,447件															
訪問件数	10,097件	10,797件	11,924件															
講座受講者数	141人	172人	135人															

災害に強いまちづくり

東日本大震災のような大規模地震やゲリラ豪雨など、自然災害はいつ起こるかわかりません。大和市では災害に強いまちづくりを目指して、様々な取り組みを進めています。

スタンドパイプ消火資機材

震災時などに、同時多発火災が発生した場合、消防署や消防団だけでは対応が困難となります。このため、大和市では、地域住民による初期消火・延焼防止活動に有効なスタンドパイプ消火資機材を導入し、昨年度までに市内146の自主防災組織に同資機材を配付したほか、コンビニエンスストア6社と協定を締結し、各店舗への設置を順次進めています。

さらに平成27年6月には鉄道会社とも協定を締結し、相模鉄道大和駅、東急電鉄中央林間駅に設置しました。



携帯トイレ

災害時には、トイレの問題は食糧や飲料水と同じく重要です。大和市では災害後の水に不自由する時期でも簡単に使用できる携帯トイレの備蓄を、市民の皆様呼びかけています。

防災用品の取り扱い店などで、お求めください。



AED(自動体外式除細動器)

災害時や事故などにより心肺停止した人への応急手当では、一刻も早いAEDの使用が生死を分けます。

大和市では、公共施設、24時間営業のコンビニエンスストア、郵便局、やまとAED救急ステーション(協力事業所)など市内全域の約340か所にAEDを整備しています。

また、市民の皆様にはAEDの操作方法や心肺蘇生法、応急手当などを学んでいただけるよう、救命講習会も開催しています。



大和市防災マップ

災害時の避難場所や、豪雨の際に浸水の可能性がある地域などをまとめたマップを配布しています。

災害への備えにお役立てください。



市民の皆様も、地震などの際に最初に持ち出すものや食糧などの備蓄、災害時の避難ルートやご家族との連絡方法の確認など普段から災害に対して備えることで、被害を最小限にしましょう。

重点施策４－４ メンタルケアの充実

近年、メンタル面で不調を訴える人が増えています。仕事や日常生活に支障をきたし、最悪の場合では自殺に至ることもあります。こうした事態を防ぐために、相談やメンタルケアを充実します。

自殺対策 担当：障がい福祉課	取り組み内容 市民一人ひとりが心を悩ませている人に早期に気づいてサポートできるように、こころサポーターを養成します。また自殺防止普及啓発事業を実施し、自殺予防に努めます。 (対象事業：自殺対策事業)																
	平成24～26年度の実施状況 ○やまと自殺対策フォーラムを開催しました。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>350人</td> <td>200人</td> <td>180人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	参加者数	350人	200人	180人								
		平成24年度	平成25年度	平成26年度													
	参加者数	350人	200人	180人													
○自殺予防のための相談専用電話である「こころの健康相談」事業を実施しました。																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>66件</td> <td>168件</td> <td>296件</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	相談件数	66件	168件	296件									
	平成24年度	平成25年度	平成26年度														
相談件数	66件	168件	296件														
青少年の健全育成 担当：青少年相談室	取り組み内容 青少年自身の悩み、青少年が起こす問題行動に悩む保護者などからの相談を受け、その問題解決を援助します。 (対象事業：青少年相談・街頭補導事業)																
	平成24～26年度の実施状況 ○カウンセリング等による心理的なケアを行ないました。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話相談</td> <td>403件</td> <td>279件</td> <td>193件</td> </tr> <tr> <td>来室相談</td> <td>213件</td> <td>325件</td> <td>300件</td> </tr> <tr> <td>継続相談</td> <td>94件</td> <td>228件</td> <td>350件</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	電話相談	403件	279件	193件	来室相談	213件	325件	300件	継続相談	94件	228件	350件
		平成24年度	平成25年度	平成26年度													
	電話相談	403件	279件	193件													
来室相談	213件	325件	300件														
継続相談	94件	228件	350件														
○青少年の非行防止のため、街頭補導を行いました。																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>323回</td> <td>317回</td> <td>303回</td> </tr> <tr> <td>声かけ人数</td> <td>1,188人</td> <td>1,053人</td> <td>951人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	実施回数	323回	317回	303回	声かけ人数	1,188人	1,053人	951人					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度														
実施回数	323回	317回	303回														
声かけ人数	1,188人	1,053人	951人														
○社会環境の浄化に努めました。																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有害看板撤去活動</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>社会環境実態調査</td> <td>27店</td> <td>28店</td> <td>43店</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	有害看板撤去活動	3回	3回	3回	社会環境実態調査	27店	28店	43店					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度														
有害看板撤去活動	3回	3回	3回														
社会環境実態調査	27店	28店	43店														



健康意識を高めようプロジェクト リーディングプロジェクト5

人が健康になるためには、一人ひとりが健康でありたいと考え、健康であり続けるために努力することが重要です。健康づくりに取り組む市民が増えるように、健康づくりに関する情報発信や、市民参加を促す取り組みを進めます。

重点施策5-1 健康の意識啓発

市民全体の健康意識を向上させるために、様々な機会を捉えて的確な情報を提供し、市民が健康増進に取り組むきっかけづくりを進めます。また、女子サッカーを市民から愛される「健康都市やまと」のシンボルとし、「社会の健康」づくりを推進します。

取り組み内容
健康の意識啓発を図るために、健康教室や健康イベントを行います。
 (対象事業：健康都市推進事業、保健衛生普及事業)

平成24～26年度の実施状況

○「健康都市やまとフェア」を開催し、「自分の健康状態を知ること」「体を動かす習慣をつけること」を中心に、市民の健康意識の向上や健康増進に寄与することを目的とした様々なイベントを実施しました。また、平成25年度には、国の健康づくり運動「健康日本21」の地方推進大会としても開催しました。

<主なイベントの参加者>

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
講演	—	610人 (午前・午後合計)	200人
体操教室	61人	—	120人
市内ウォーキング	26人	—	93人
骨量測定と結果説明	—	168人	158人
健康チェックと結果説明	181人	—	—
体力測定	212人	155人	120人

○健康意識向上のため健康教室を実施しました。

<平成26年度>

- ・体幹トレーニングでゆがみ矯正☆簡単エクササイズ (2回・31人)
- ・目指せタカラジェンヌ！ピラティスでボディメイク (2回・34人)
- ・毎日の疲れをリフレッシュ♪すっきり癒しのヨガ (2回・45人)

健康イベントの開催

担当：政策総務課
 保険年金課

	<p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日できる！続けられる！ 簡単ポイントエクササイズでエイジングケア講座（2回・40人） ・音楽に合わせて楽しくノリノリ♪ダイエット講座（2回・41人） ・今夜はぐっすり☆癒しの快眠ヨガ講座（2回・46人） <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コリ&ゆがみ解消！簡単エクササイズ講座（2回・45人） ・楽しくできる！気になる部分集中ダイエット講座（2回・29人） ・気分はうっとり！癒しのヨガ講座（2回・33人） 																										
<p>健康都市の推進 担当：政策総務課</p>	<p>取り組み内容 健康都市連合加盟市と連携をとり、健康都市の取り組みを調査研究し、効果的な施策展開を図ります。また、健康都市シンボルマークの使用や各種イベントでシンボルマーク旗・のぼり旗を使用し、健康都市をPRします。 (対象事業：健康都市推進事業)</p> <p>平成24～26年度の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成24年10月の第5回健康都市連合国際大会で、同連合日本支部の代表として理事に選出されました（任期は4年間です）。 ○理事として、連合と国際大会（偶数年に開催されます）の運営に携わっています。 ○健康都市連合の国際大会に出席し、日本代表の理事として、大和市や日本の健康都市の取り組みについて報告や発表を行っています。 <table border="1" data-bbox="515 1155 1394 1292"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際大会 開催地</td> <td>オーストラリア ブリスベン市・ローガン市</td> <td>中国・香港 沙田区</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○国際大会の無い奇数年に開催される理事会会議に出席し、連合の運営に携わりました。 <table border="1" data-bbox="515 1370 1099 1507"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理事会会議 開催地</td> <td>韓国 原州（ウォンジュ）市</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○健康都市連合日本支部総会・大会に出席し、健康都市連合理事としての活動報告や日本支部会員の自治体・団体等との情報交換等を行いました（平成24年8月には、本市で開催しています）。 <table border="1" data-bbox="515 1630 1394 1767"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本支部大会 開催地</td> <td>神奈川県 大和市</td> <td>愛知県 北名古屋市</td> <td>千葉県 我孫子市・柏市</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○健康都市のPRのため、封筒・チラシ・名刺・のぼり旗等において健康都市シンボルマークを使用しました。また、各種イベントでシンボルマークの幟を活用しました。 ・健康都市シンボルマーク使用件数 <table border="1" data-bbox="515 1928 1394 2020"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用件数</td> <td>32件</td> <td>32件</td> <td>25件</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成26年度	国際大会 開催地	オーストラリア ブリスベン市・ローガン市	中国・香港 沙田区		平成25年度	理事会会議 開催地	韓国 原州（ウォンジュ）市		平成24年度	平成25年度	平成26年度	日本支部大会 開催地	神奈川県 大和市	愛知県 北名古屋市	千葉県 我孫子市・柏市		平成24年度	平成25年度	平成26年度	使用件数	32件	32件	25件
	平成24年度	平成26年度																									
国際大会 開催地	オーストラリア ブリスベン市・ローガン市	中国・香港 沙田区																									
	平成25年度																										
理事会会議 開催地	韓国 原州（ウォンジュ）市																										
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																								
日本支部大会 開催地	神奈川県 大和市	愛知県 北名古屋市	千葉県 我孫子市・柏市																								
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																								
使用件数	32件	32件	25件																								

<p>予防接種情報の発信 担当：健康づくり推進課</p>	<p>取り組み内容 子どもの予防接種スケジュールをわかりやすくするため、携帯電話にスケジュールを連絡する予防接種情報サービス「らくらく予防接種」を実施します。 (対象事業：予防接種事業)</p>																														
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○予防接種スケジュールを広報やホームページで周知するとともに、対象者には個別に勧奨通知を行いました。</p> <p>○らくらく予防接種（平成24年12月より自動配信を開始）により、予防接種スケジュール、乳幼児健診、協力医療機関や流行疾患などの情報提供を行い、未接種者に対し接種勧奨をしました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>1,745人</td> <td>4,155人</td> <td>6,015人</td> </tr> </tbody> </table>					平成24年度	平成25年度	平成26年度	登録者数	1,745人	4,155人	6,015人																			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																												
登録者数	1,745人	4,155人	6,015人																												
<p>地域での健康相談・健康教育の実施 担当：健康づくり推進課</p>	<p>取り組み内容 健康診査後の事後指導及び生活習慣予防のための保健師や栄養士等による相談・教育・訪問指導を行います。 (対象事業：健康相談・教育事業)</p>																														
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○以下の相談・教育・訪問指導を行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">健康相談</td> <td>6,185人</td> <td>7,396人</td> <td>6,821人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康教育</td> <td>実施回数</td> <td>131回</td> <td>127回</td> <td>230回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>9,085人</td> <td>6,123人</td> <td>11,618人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">訪問指導</td> <td>(実数)</td> <td>317人</td> <td>795人</td> <td>1,127人</td> </tr> <tr> <td>(延べ数)</td> <td>343人</td> <td>964人</td> <td>1,302人</td> </tr> </tbody> </table>						平成24年度	平成25年度	平成26年度	健康相談		6,185人	7,396人	6,821人	健康教育	実施回数	131回	127回	230回	参加者数	9,085人	6,123人	11,618人	訪問指導	(実数)	317人	795人	1,127人	(延べ数)	343人	964人
		平成24年度	平成25年度	平成26年度																											
健康相談		6,185人	7,396人	6,821人																											
健康教育	実施回数	131回	127回	230回																											
	参加者数	9,085人	6,123人	11,618人																											
訪問指導	(実数)	317人	795人	1,127人																											
	(延べ数)	343人	964人	1,302人																											

保健師と管理栄養士の地域訪問活動

大和市は平成 25 年度より、健診結果において血糖値等の数値が高めだった方や、腎臓の働きが低下してきた方に対して、保健師と管理栄養士による訪問指導を開始しました。

平成 25 年度と 26 年度は、市内 11 地区のうちまず鶴間地区をモデル地区として、保健師と管理栄養士が、血圧や血糖値等の上昇がみられる市民のお宅を訪問しました。ご家庭で健康状態の聞き取りなどをした上で、各種健診の受診勧奨（特定健診、長寿健診、女性健診、親子 de 健診、がん検診、歯科健診など）や、栄養指導を含む保健指導などを行いました。



訪問を行うことにより、数値が高いけれども自覚症状が無い場合、生活習慣の改善に取り組んでいない方がいることがわかりました。

高血圧や高血糖、脂質異常などを抱えている方には、糖尿病やその合併症を併発する危険があることや、放置しておくことで慢性腎不全など重大な事態に繋がる恐れがあるため、食生活や、間食の見直し、減塩・たんぱく質制限・食事量などの指導を行います。

また、ご高齢の方の中には低栄養の恐れがある方も多くみられました。低栄養とは、エネルギーとたんぱく質が不足した状態を言います。この原因の一つとして、「健康のためにはやせているほうがよい」と思われている方が多いことがあります。しかしご高齢になられると、栄養の不足は筋力や活動量の低下による心身の衰弱「フレイル」に繋がる危険性があります。このような方たちには、エネルギーやたんぱく質を適切に摂れるよう、日々の食事のひと工夫をアドバイスしています。

糖尿病や低栄養の悪化防止は、市民の皆様が健康な生活を送っていただくために極めて大切です。また、長期的にみると医療費の軽減や介護予防にも大きな効果があることがわかってきています。平成 27 年度には市内 6 地区で、同 28 年度からは市内全 11 地区すべてで、こうした訪問活動を繰り広げていきます。

健康普及員の支援 担当:健康づくり推進課	取り組み内容 地域で健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員を支援し、健康・体力づくりを推進します。 (対象事業:健康づくり普及啓発事業)			
	平成24～26年度の実施状況 ○地域の健康づくりのリーダーである健康普及員が行う事業への支援や、人材の育成を行いました。			
	・地区活動 ・健康講座(体操教室・料理教室・ウォーキング・測定・健康講座)			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	講座回数	39回	42回	38回
	参加者数	1,264人	1,187人	1,121人
	・その他(大和市民まつり・ふれあい広場等)			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	実施回数	24回	23回	22回
	参加者数	3,507人	4,281人	4,325人
・育成講座				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
講座回数	3回	3回	3回	
参加者数	125人	145人	137人	
・会議(総会・理事会・編集委員会・定例会・各種事業の会議等)				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
会議回数	63回	71回	65回	
参加者数	493人	657人	522人	
手洗い・うがいの普及啓発 担当:健康づくり推進課	取り組み内容 インフルエンザなどの感染症予防の基本である「手洗い」、「うがい」などの習慣を定着するために、普及啓発を行います。 (対象事業:保健衛生普及事業など)			
	平成24～26年度の実施状況 ○感染症予防の基本である「手洗い」「うがい」などの習慣を定着するために、調理実習や健康教育の場を利用して、重要性の普及啓発を行いました。			

<p>歯の健康づくり</p> <p>担当:すくすく子育て課 健康づくり推進課</p>	<p>取り組み内容</p> <p>歯の健康を維持する習慣をつけてもらうために、定期的な歯の健康診査で、正しい歯磨きの指導などを行います。</p> <p>(対象事業：1歳6ヶ月児健康診査事業、3歳6ヶ月児健康診査事業、成人歯科健康診査事業)</p>			
	<p>平成24～26年度の実施状況</p> <p>○1歳6か月児歯科健康診査を月に2回実施しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	対象者数	2,183人	2,078人	2,114人
	受診者数	1,922人	1,889人	1,940人
	受診率	88.0%	90.9%	91.8%
	<p>○3歳6か月児健康診査（内科健診と同時実施）を月2回実施しました。</p>			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	対象者数	2,165人	2,036人	2,099人
	受診者数	2,011人	1,899人	1,975人
受診率	92.9%	93.3%	94.1%	
<p>○成人歯科健診を実施しました。</p> <p>・対象 平成25年度まで：40歳の住民 平成26年度から 40、50、60、70歳の住民</p>				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
実施機関	77か所	76か所	78か所	
受診者数	331人	267人	868人	
<p>○健診対象者に送付する受診券に受診を勧めるチラシを同封し、受診者数増加に努めました。</p>				



歯と口腔^{くわう}を健康に

歯と口腔の健康状態は、あらゆる年齢層の方の全身の健康に関係しますが、成長期にある子どもたちの健全な発育や大人になってからの健康に大きな影響を及ぼします。成人の歯周疾患は、生活習慣病をはじめ、様々な全身の病気に関係しています。また、ご高齢の方にとって、よくかんで食事をできるかどうかは健康と生活の質を大きく左右します。かんで食事をできなくなることは、食生活の偏りによる低栄養のみでなく、主観的な健康感や運動機能の低下にもつながるとされています。

こうしたことから、大和市では歯と口腔の健康づくりをさらに積極的に進めるため、平成27年3月に「大和市歯及び口腔の健康づくり推進計画」を策定しました。

同計画は、ライフステージ(乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期)ごとの特性を踏まえて、世代別の取り組みを進めていくことを定めています。乳幼児期では親子を対象とした歯科講習会や歯磨き指導、歯科検診などを行います。学齢期では学校でのブラッシング指導や歯科健診などを行います。成人期の市民には妊婦や各年代の歯科健診などを行い、高齢期には「8020運動推進員による口腔ケアの健康教育」や「健^{けんこう}口体操の普及啓発」などを行っています。

さらに、平成26年2月8日より毎月8日を「歯の日」とし、市民の皆様には日常生活において歯磨きを始めとする口腔ケアの取り組みを呼びかけています。

また大和市立病院では、平成26年5月に歯科口腔外科を新設しました。同科では、地域の歯科医院と連携しつつ、難抜歯や歯性感染症などの治療、手術後の合併症の予防などに取り組んでいます。

大和市は今後も、保健、医療、福祉、教育、食育など、広範囲にわたる多様な施策を通じて、市民の歯と口腔の健康づくりをサポートしてまいります。



日本歯科医師会の「よ坊さん」とヤマトン

(平成25年10月26日開催「健康日本21推進大和大会・健康都市やまとフェア2013」にて)

<p>地域スポーツの振興 担当：スポーツ課</p>	<p>取り組み内容 女子サッカーを「健康都市やまと」のシンボルとし、地域スポーツの振興を図るため、各種スポーツ団体と連携を深めるとともに、女子サッカー関連イベントや総合型地域スポーツクラブの設立を推進します。</p> <p>(対象事業：地域スポーツ推進事業、女子サッカー推進事業)</p>
	<p>【地域スポーツ推進事業】</p> <p><平成26年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「夢の教室」を全市立小学校5年生58クラス・市立中学校2年生50クラスを対象に実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象児童数 3,760人 ○イースタンリーグ春季教育リーグ「横浜DeNAベイスターズ対読売ジャイアンツ」を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 2,094人 ○キッズスポーツフェスタを小学校1～6年生を対象に開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 100人 ○「総合型地域スポーツクラブ創設支援補助金」を創設し、総合型地域スポーツクラブの創設を支援しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数 2団体 <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「夢の教室」を全市立小学校5年生62クラスを対象に実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象児童数 1,959人 ○総合型地域スポーツクラブ創設に向けて、創設希望団体の相談業務を実施し、設立に向けた支援を図りました。 <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ロンドン・オリンピックの女子サッカー全6試合のパブリック・ビューイングを行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 1,950人



【女子サッカー支援事業】

平成24～26年度の実施状況

○女子サッカー関連イベントを開催し、女子小中学生サッカー選手の活躍の場の提供と競技力の向上を図ることができたとともに、スポーツ観戦の場を提供しました。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
なでしこカップ U-15大会	1,500人	1,400人	1,000人
なでしこカップ U-12大会	1,000人	240人 (※)	740人
プレなでしこカップ	2,000人	—	
なでしこリーグ公式戦	—	939人	1,474人
なでしこレジェンドが やってくる!	—	730人	500人
女子小中学生 サッカー体験	—	102人	48人
川澄奈穂美講演会	—	450人	—
スポーツ子育て トーク!	—	—	100人
大和なでしこ サッカーフェスティバル	—	100人	60人
JFAガールズ フェスティバル	—	300人	300人
合計	4,500人	4,261人	4,222人

※平成25年度なでしこカップU-12は、当日大雨のため観客減



「女子サッカーのまち大和」

【大和市ゆかりのなでしこ選手】

2015年、カナダで行われたFIFA女子ワールドカップにおいてなでしこジャパンは、前回のドイツ大会に続きファイナリストとなり、準優勝という輝かしい成績を残しました。

この「なでしこジャパン」には、大和市ゆかりの選手たちが大活躍しています。大和駅西口に開設されたなでしこ広場と、市役所正門(通称「さくら門」)には、なでしこジャパンの、大野忍選手、川澄奈穂美選手、上尾野辺めぐみ選手、小野寺志保さん(元女子サッカー日本代表ゴールキーパー・現大和市職員)の手形モニュメントが設置されています。

【大和シルフィード】

大和シルフィードは1998年、地域の女子中学生にサッカー環境を提供することを目的に発足されたクラブチームで、なでしこジャパンで主力選手の川澄選手や上尾野辺選手をはじめ、これまで多くのなでしこ選手を輩出しています。

同クラブのトップチームは、平成26年に発足。神奈川県1部リーグから活動をスタートし、1年間でチャレンジリーグ参入(Jリーグ3部に相当)を決めました。2015年、リーグ初年度のシーズンは6チーム中4位という成績でしたが、なでしこリーグ昇格を目標に、更なる飛躍を目指しています。

また、大和市では同チームを市内初のホームタウンチームとして認定しました。

大和スポーツセンター競技場でのホームゲーム開催や、すべての試合を「女子サッカー観戦デー」として運営等の補助を行うことなど、様々な支援を通して地域に愛されるスポーツクラブに成長するためのサポートを行っています。

大和市では、こうした偉業や功績とともにスポーツの素晴らしさを次世代に伝えていくため、女子サッカーを多くの市民から愛される「健康都市 やまと」のシンボルとして、この他にも様々な取り組みを進めています。

【大和市の取り組み】

中学生以下の女子サッカーチームのトーナメント試合「大和なでしこカップU-15」や小学生が対象の「大和なでしこカップU-12」。日本代表のOGが大和に集結し、市内の女子サッカーチームと交流試合を戦う「なでしこレジェンドが大和にやってくる!」、すべての女性を対象に、なでしこジャパンで活躍中の現役選手や、メディアで活躍するOGがサッカーの楽しさを伝える「大和なでしこサッカーフェスティバル」などがあります。また市内の女子小・中学生に対しては、「大和シルフィード」や「なでしこレジェンド」選手たちが指導するサッカー体験会なども開催しています。

こうした取り組みは、市内の女子サッカーの振興につながるのみでなく、「女子サッカーのまち大和」として、市民全体の健康意識を高めていくことにもつながっていくものと考えられます。

大和市は今後も、健康都市推進のためのシンボルとして、女子サッカーに関する様々な取り組みを進めてまいります。



大和なでしこカップ（U-15）の様



「大和シルフィード」トップチームのイレブン

資料集

世界における健康増進の取り組み

1 歴史

第二次世界大戦後、医療技術の飛躍的な進歩、薬剤の開発などにより、感染症が激減するとともに、人々の平均寿命は飛躍的に延びました。しかし、一方で先進国と、開発途上国の間では、人々の健康水準の格差は拡大していきました。

こうした状況について、WHO（世界保健機関）は、政治的、社会的、経済的にも容認できないものであるとし、1977（昭和 52）年に「ヘルス・フォー・オール」を WHO の基本目標に設定しました。さらに翌 1978（昭和 53）年にはユニセフとの共催で「プライマリ・ヘルスケア」（地域に住む人々が、誰でも受けられる必要な保健活動）に関する国際会議を開催し、主として開発途上国における身体的健康の増進を目的とした「アルマ・アタ宣言」を採択しました。

その後、予防接種の普及や地域保健サービスの向上など、プライマリ・ヘルスケアの取り組みにおいて、一定の成果が挙げられました。

一方、ヨーロッパを中心とする都市人口の集中する国々では、人口集中による生活環境の激変が人々の健康に大きな影響を及ぼすという深刻な問題が生じていました。

1986（昭和 61）年、WHO はオタワ憲章を採択し、その中で「ヘルス・プロモーション」という考え方を打ち出しました。ヘルス・プロモーションとは「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにする継続的な活動」のことだとされています。

プライマリ・ヘルスケアの考え方を基礎に持つヘルス・プロモーションは、ヘルス・フォー・オールを実現するための必須の健康戦略として位置づけられています。

2 健康都市の取り組みの始まり

健康都市の取り組みが本格化したのは、1980 年代の後半です。WHO により「オタワ憲章」が採択されたことをきっかけに、WHO ヨーロッパ地域で、健康都市をまちづくりの手法の一つとして活用するために、健康都市プロジェクトが開始されました。

この取り組みが、やがて世界中に拡大し、WHO 西太平洋地域での健康都市連合へとつながっていきます。

3 健康都市連合 (Alliance for Healthy Cities)

健康都市連合は、WHO 西太平洋地域事務局の提案で 2003 年 (平成 15 年) に発足しました。メンバーは地方自治体、中央政府、NGO、民間組織、学術団体、国際機関などからなり、各々の地域の特性に合わせて、人と人を取り巻く環境の両面から健康を増進するという健康都市の取り組みを実践しています。



健康都市連合シンボルマーク

健康都市連合は、人々の相互交流、情報の交換、研究の展開を促し、また、プログラムを構築する能力を高めることを目的に活動しています。健康都市連合では、加盟団体が協力しあうこと、また健康都市の考え方を最大限有効に活用することが期待されています。加盟団体が、それぞれの知識と経験を共有することで、都市に住む人々の健康を改善するための有効な手段になると考えています。

健康都市連合は 2 年おきの偶数年に、国際大会・総会を開催しています。最近では平成 26 年 10 月に香港で開催されています。

健康都市連合は、連合事務局(東京医科歯科大学) および理事会会議によって運営されています。理事会のメンバーである理事は各国の代表などから構成されており、平成 24 年からは大和市が、日本を代表して理事を務めています。

【健康都市連合会員一覧 10 か国 217 都市・団体】

平成 28 年 1 月現在

正会員 173 都市	
日本 (34)	千葉県流山市、神奈川県大和市など
オーストラリア (6)	ヘルシーシティーズ イラワラ、ローガン市など
カンボジア (1)	プノンペン市
中国 (32)	蘇州市、香港特別行政区、マカオ特別行政区など
韓国 (81)	原州市、光明市、ソウル特別市、釜山広域市など
マレーシア (1)	クチン市
モンゴル (5)	ウランバートル市、ダルハン市など
フィリピン (12)	マリキナ市、カローカン市など
ベトナム (1)	フエ市

準会員 43 団体 1 個人	
NGO、NPO (28)	健康都市活動推進機構 (日本)、ヘルシーシティーズ オンカパリンガ (豪州)、台南健康都市アソシエーション (台湾) など
学術団体 (9)	東京医科歯科大学大学院、ソウル国立大学、香港中文大学など
政府機関 (4)	マレーシア政府健康都市ナショナルコーディネーター、シンガポール政府健康推進審議会など
民間 (2)	コーポレートデザイン研究所 (日本)、GE アセアン
個人 (1)	前オーストラリア支部長

4 健康都市連合日本支部

健康都市連合では、日本、中国、韓国、香港、オーストラリアの5つの支部を認定し、それぞれの支部で独自の活動をしています。

日本支部は、2005年（平成17年）に発足しました。日本支部では、毎年開催している健康都市連合日本支部大会などを通じて、日本における健康都市の普及や、ネットワークの構築に努めるなど、積極的に活動しています。平成26年には7月に、千葉県我孫子市と柏市で日本支部大会が開催されています。

【健康都市連合日本支部会員一覧 44自治体・団体】

平成28年1月現在

正会員 41自治体		※健康都市連合会員	
※愛知県	北名古屋市 【支部長】	※神奈川県	大和市
※千葉県	柏市 【副支部長】	※東京都	台東区
※北海道	網走市 【副支部長】	※三重県	亀山市
※宮城県	涌谷町 【監事】	※茨城県	笠間市
※千葉県	市川市	※静岡県	浜松市
※愛知県	尾張旭市	※愛媛県	八幡浜市
※静岡県	袋井市	※愛媛県	西予市
※沖縄県	宮古島市	※佐賀県	嬉野市
※岐阜県	多治見市	※愛知県	田原市
群馬県	伊勢崎市	※愛知県	長久手市
千葉県	野田市	※岐阜県	美濃加茂市
※千葉県	我孫子市	※北海道	帯広市
千葉県	佐倉市	※新潟県	妙高市
埼玉県	川口市	※茨城県	潮来市
千葉県	鎌ヶ谷市	※宮城県	加美町
※愛知県	名古屋市	※東京都	西東京市
千葉県	松戸市	※愛知県	あま市
※愛知県	大府市	※宮城県	大崎市
千葉県	鴨川市	※愛媛県	上島町
※千葉県	流山市	※香川県	高松市
※兵庫県	神戸市		
協力会員 3団体			
健康都市活動支援機構			
(株)コーポレートデザイン研究所			
一般社団法人 MOA インターナショナル			

2003年10月17日 マニラ

2004年10月13日 クチン

2008年10月26日 市川

健康都市連合憲章 (Charter of the Alliance for Healthy Cities)

前文

私たち健康都市連合のメンバーは；

市民の生活の質 (Quality of life) を向上させ、不平等を是正することを決意する。

健康とは、単に疾病や障害がないだけでなく、肉体的・心的・社会的・精神的に良好な状態であること、さらに健康が住民の基本的権利であることを認識する。また、互いの組織が協力しあい、できるだけ高いレベルの健康を達成するために多部門による行動が必要であることを確認する。

都市化 (Urbanization) は全世界的な現象であり、都市住民の生活の質と健康の向上のためには、組織横断的な行動が必要であると認識する。

都市がかかっている社会的、政治的、経済的、環境、そして健康についての目標を達成するために、地方政府は急速に拡大する都市域を適切に経営し、説明責任、透明性、予見性をそなえ、そして法令に従って運営しなければならないことを認識する。

ヘルシーシティーアプローチ (Healthy Cities approach) を通して、個人やグループが自身の生活の質を向上できるようにすることを決意する。

都市間でヘルシーシティーのアプローチとその考え方について情報や経験を積極的に共有する。

健康を重視する都市政策 (Healthy public policy) を立案し、健康を支える環境を整え、コミュニティーの活動を強化し、個人の能力開発を促し、より高い健康水準を達成するための新たな方向性を開拓することに責任をもって取り組む。

私たちはここに健康都市連合ビジョン (the vision of the Alliance for Healthy Cities) を宣言する。

すべての市民が協調して平和に暮らす都市・コミュニティーの構築を目指す。

持続可能な成長と多様性の尊重を実現し、できるだけ高い生活の質と健康を人々が平等に達成できるよう、市民生活のあらゆる場面において健康を増進し保護することに責任をもって取り組んでいく。

ここに私たちの連合の理念と行動を具体化し活動の指針となるべきものとして、健康都市連合憲章を公布する。

第1条 一般条項 (General Provisions)

第1.1項 連合に係る組織名を「健康都市連合 (Alliance for Healthy Cities)」とする。(以下「連合 (Alliance)」という。)

第1.2項 連合はその理念、目標および目的を共有する都市から構成され、その運営がおこなわれる国においては非政府・非営利団体として登録される。

第1.3項 本憲章は、以下の条項で定義される全ての正会員および準会員に適用される。

第 1.4 項 本憲章の条項は、会員及び準会員が所在する国が設置・締結する法・国際条約にかわるものではない。

第 2 条 用語の定義

第 2.1 項 健康都市 (Healthy Cities)

健康都市とは、継続して都市の物的・社会的環境の改善を行い、人々が互いに助け合い、生活のあらゆる局面で自身の最高の状態を達成するために、都市にある様々な資源を幅広く活用し、さらに発展させていく都市である。

第 2.2 項 健康促進 (Health Promotion)

健康促進とは人々が自身の健康をコントロールし、自ら健康な状態を達成できるよう促すことである。

第 2.3 項 ヘルシーセッティング (Healthy Settings)

ヘルシーセッティングとは、社会生活の中で人がまとまって活動する空間が、総体として健康促進を支える物的・社会的環境条件を備えていることを指す。

第 2.4 項 生活の質 (Quality of life)

生活の質とは、各々の文化的背景・価値観の中における自己の境遇についての理解と定義され、個々人の目標・期待・判断基準・関心事に深く関係するものである。

生活の質は、個々人の肉体的な健康、精神的状態、自立の程度、社会的な関係、個人の信念、環境の特色との関係など、広い諸概念を含んだものである。

第 2.5 項 都市 (City)

都市とは、都市政府 (city governments)、都市連合政府 (governing units of cities)、地方自治体 (municipalities) 及びそれと同等の組織 (equivalent organizations) を指す。

第 3 条 連合の目標と目的

第 3.1 項 目標 (Goal)

健康都市の目標は、ヘルシーシティーアプローチを通じ、持続的な方法により都市居住者の健康を守り促進し、生活の質を向上させることである。

第 3.2 項 目的 (Objectives)

第 3.2.A 項 健康都市の取り組みを強化し、生活の質を向上させるための斬新なプランとプログラムの開発を促し、特定の環境下での健康に関する課題に取り組んでいく。

第 3.2.B 項 メンバー間で生活の質の向上や健康に関する共通した問題に関する知識や経験を共有する。

第 3.2.C 項 先進的で特徴ある健康都市の取り組みを表彰する。

第 3.2.D 項 西太平洋地域とその他の地域にある都市・組織間の連携を図り、健康都市の取り組みが行われるよう、利用可能なすべての資源を配置して活用する。

第 3.2.E 項 健康都市のあらたな知識・技術を、学術的・学際的な連携により開発していくと同時に健康都市の計画・実行・評価手法を向上させるための技術的手段をまとめていく。

第 4 条 組織の構成およびその管理

第 4.1 項 総会 (General Assembly)

総会は、連合の主たる意思決定機構であり、正会員 (Full members) および準会員 (Associate members) からなる。総会は 2 年ごとに総会により決定された開催地に集まり、理事会 (Steering Committee) により提案された向こう 2 年間の政策・プログラム・予算および活動内容について承認を行う。

第 4.2 項 理事会 (Steering Committee)

理事会は総会により選出され、連合における政策立案の役割を担う。理事会は 12 の正会員と準会員からなり、任期は 1 期 4 年、最長 2 期務めることが可能で、任期終了後 2 年は再任されない。理事会は、正会員 7 都市と準会員 5 団体 (NGO、国際組織、学術団体、民間・ビジネス団体、国の機関) からなるものとする。継続性を担保するため、初代の理事会は、それぞれ 6 会員からなる 2 グループで構成する。理事会員の半数を任期 2 年、他の半数を任期 4 年とする。続く 2 年間の任期においては、2 年の任期を終了した半数のグループに代わり、4 年の任期をもつグループが選出される。その後は 2 年ごとに新たな 6 理事会員が 4 年の任期をもって選出される。理事会員が任期途中でその役割を担えなくなった場合には、議長都市との協議の上、理事会がその後任を指名する事ができる。

第 4.3 項 事務局 (Secretariat)

事務局は管理部門を担う組織とし、総会の承認を受け理事会に指名された特定の機関として機能する。事務局は連合の目標・目的達成を支援するための調整・連絡・データ管理・助成・資金管理等の業務を行う。また事務局は、連合を代表して法的業務を行うことができる。事務局は管理業務と財務管理に対する説明責任があり、2 年ごとに総会に対して財務報告書を提出しなければならない。理事会の推薦と総会の承認により、事務局を他の組織・協会・その他適切と思われる団体等に交替することができ、所在する国において適切な団体として登録する。

第 4.4 項 活動部会 (Working Committee)

活動部会は連合の正会員および準会員からなり、理事会に推薦され総会の承認を受けた特定のプロジェクト・活動を行うために組織される。部会の条件は必要に応じて作成される。

第 4.5 項 表彰委員会 (Committee on Awards)

表彰委員会は、理事会の推薦と総会の承認により 2 年ごとに組織される。表彰委員会は多様性をもつように部門・グループ・地域から選出された 8 人のメンバーから構成され、健康都市の際立った取り組みに対する評価を行う。

第 4.6 項 総会の開催・議長都市 (Convenor and Chair City of the General Assembly)

総会の開催・議長都市は、任期 2 年で、総会により選出される。開催都市は次回の総会開催時のホスト都市となり、総会における議長都市となる。

第 4.7 項 支部 (Chapters)

連合の支部は、理事会に推薦され総会の承認を受けて国ごとに組織され、活動する国で登録される。

第5条 会員規定 (Membership)

第5.1項 都市は下記の手続きを行うことで、連合のメンバーとなる。

- a) 会費 (Membership fee) およびその他の支払われるべき費用 (Annual dues) の支払い
- b) インフォメーションシートの作成
- c) 下記の書類の提出
 - 1) ヘルシーシティの理念に則った書面による政策声明の作成
 - 2) 将来のビジョンと目標
 - 3) 都市のプロフィールデータ
 - 4) 優先的健康課題の分析

これらに加え、下記の書類の提出が望ましい。

- ・ 組織横断的な取り組みを行う仕組み
- ・ コミュニティーの参加を促す仕組み
- ・ 問題解決のためのローカルアクションプラン
- ・ 施策のモニタリング・評価のための指標
- ・ 情報の発信と共有を促すシステム

第5.2項 申し込み手続き

申し込み手続きは2年ごとに事務局により策定され総会にて周知される。すべての正会員および準会員は、理事会により提案され、総会によって承認された調整率によって調整された年間基本会費を支払わなければならない。調整率の分類は、都市の歳入額または理事会により提案された他の指標を基本とする。

第5.3項 準会員の身分

ヘルシーシティに興味を持つすべての個人・非都市団体が準会員となれる。準会員は議決に関する投票権を除き、正会員と同じ役割を持つ。個人・非都市団体に関するその他の規定については、理事会によって決定され総会の承認を受けるものとする。

第5.4項 会費の支払いが滞った場合、議決に関する投票する権利を含む連合の活動に関する参加が制限される。

第6条 財政管理 (Financial Management)

第6.1項 資金 (Sources of funds)

連合の資金は以下の4つに分類される。

- a) 会費 (Membership fee)
- b) 資金調達及び収入確保のための活動
- c) 他の機関・組織との取り決めによる助成金および財政的支援
- d) 寄付、後援および貢献事業

第6.2項 連合の資金は、本憲章に規定する目標・目的を達成するためのトレーニング、セミナー、ワークショップ、コンサルタント、プロジェクトの運営・実行に使われる。

第6.3項 事務局は、活動を行う国の会計・監査の規則を遵守し、連合の管理業務および資金管理を行う。

第7条 表彰・奨励 (Awards, Recognition, and Incentives for Healthy cities)

第7.1項 表彰

正会員および準会員のヘルシーシティーに関する際立った取り組みについて、2年おきに表彰を行う。

第7.2項 表彰分野

2年ごとに連合の目標・目的に関連した対象分野を決定する。表彰分野および表彰基準は、理事会によって提案され総会の承認を受けるものとする。

第7.3項 プロジェクトの特別奨励

プロジェクトの特別奨励は、メンバー都市の取り組みを持続・発展させるために行われることとする。

第8条 実行規定および最終条項 (Implementation and Final Provisions)

第8.1項 2年期間の業務およびファイナンシャルプラン (Biennium Work and Financial Plan)

2年期間の業務およびファイナンシャルプランは、理事会によって決定され総会の承認を受けた取り決めに従う。

第8.2項 憲章の修正

憲章の改正は、出席者数が求められる定足数に達した総会の賛成多数によって行われる。

第8.3項 連合の解散

連合の解散は、出席者数が求められる定足数に達した総会の賛成多数により有効となる。

第8.4項 憲章の効力の発生時期

本憲章は連合の設立メンバーの署名をもって効力を発揮する。

※原文は英語（翻訳：千葉県市川市 監修：健康都市連合事務局）

(目的)

第 1 条 この要綱は、大和市健康都市プログラムに基づく健康都市推進施策の具体的な取組の検討に資するため、大和市健康都市推進市民会議（以下「市民会議」という。）の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所管事項)

第 2 条 市民会議は、次に掲げる事項について必要な議論を行い、必要に応じて市長に意見を述べる。

- (1) 大和市健康都市プログラムに掲げるリーディングプロジェクトの具体的な取組内容に関すること。
- (2) 前号に規定するリーディングプロジェクトを实践する仕組みの検討に関すること。

(構成員等)

第 3 条 市民会議は、次に掲げる区分により選出された 9 人以内の委員をもって組織する。

- (1) 市内で健康づくり活動に携わる者
 - (2) 公募による市民
- 2 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 4 条 市民会議に会長及び副会長を置くものとし、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、市民会議の会務を総理し、市民会議を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(市民会議の招集等)

第 5 条 市民会議は、会長が招集する。

- 2 市民会議は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第 6 条 市民会議の庶務は、健康都市主管課が行う。

(その他)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営について必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、公表の日から施行する。

健康都市推進市民会議委員

選出区分
市民公募
大和市地区体育振興会連絡協議会
大和市健康普及員連絡協議会
大和市自治会連絡協議会
大和市自然観察センター・しらかしのいえボランティア協議会
大和市食生活改善推進協議会

健康都市推進庁内検討会議設置要領

(趣旨)

第1条 この要領は、健康都市推進庁内検討会議（以下、「検討会議」という。）の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所管事項)

第2条 検討会議は、次に掲げる事項を所管する。

- (1) 健康都市推進の手法の検討に関すること。
- (2) 大和市健康都市プログラム（以下「プログラム」という。）の進行管理に関すること。
- (3) プログラムの見直しに関すること。
- (4) その他、検討会議で必要と認めた事項。

(構成員等)

第3条 検討会議の構成員は、健康都市推進庁内検討会議名簿（別表）のとおりとする。

(議長及び副議長)

第4条 検討会議に、議長及び副議長を置くものとし、会員の互選により選出する。

- 2 議長は、検討会議の会務を総理し、検討会議を代表する。
- 3 副議長は、議長を補佐し、議長が欠けたとき、又は議長に事故があるときは、その職務を代行する。

(検討会議の招集等)

第5条 検討会議は、議長が招集する。

- 2 議長は、必要があると認めたときは、構成員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(代理者の出席)

第6条 検討会議の構成員が、やむを得ない理由により出席できない場合は、代理者を出席させることができる。

(庶務)

第7条 検討会議の庶務は、政策総務課が行う。

(その他)

第8条 この要領に定めるもののほか、検討会議の運営について必要な事項は、議長が定める。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成21年9月2日から施行する。

別表（第3条関係）

市長室秘書総務課長	文化スポーツ部文化振興課長
政策部政策総務課長	街づくり計画部街づくり総務課長
総務部総務課長	都市施設部都市施設総務課長
市民経済部市民活動課長	市立病院事務局病院総務課長
環境農政部環境総務課長	消防本部消防総務課長
健康福祉部健康福祉総務課長	教育部教育総務課長
こども部こども総務課長	

厚生労働省「健康寿命をのばそう！アワード」

を受賞しました

平成27年11月16日、厚生労働省の第4回「健康寿命をのばそう！アワード」が発表され、大和市は厚生労働省健康局長優良賞を受賞しました。

大和市は「健康都市やまと」として市政全体で市民の皆様の健康のための

の
取り組みを進めており、平成26年の香港での健康都市連合国際大会でも、日本の自治体では初めて「健康都市優秀インフラストラクチャー賞」を受賞しています(6ページ)。

今回の受賞では、生活習慣病予防のための取り組みとして、「保健師・管理栄養士による地域訪問」(64ページ)と、コミュニティバス、健康遊具、健康図書館などの「外出したくなるまちづくり」(32ページ)が評価されました。

表彰式では、ゲストとしてAKB48 Team 8やマラソンの有森裕子さんも登場された中、本市職員に賞状が授与されました。

大和市は今後も、市民の皆様の健康な生活のための取り組みを、よりいっそう進めてまいります。



本市職員への
賞状授与



全体での記念撮影

大和市健康都市プログラム（平成26～30年度）

平成27年度改訂版

【平成28年1月刊行】

発行：大和市

編集：政策部 政策総務課 健康都市推進担当

〒242-8601

神奈川県大和市下鶴間一丁目1番1号

TEL 046-260-5327

URL <http://www.city.yamato.lg.jp>